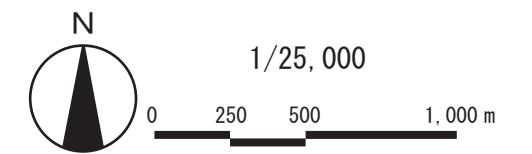
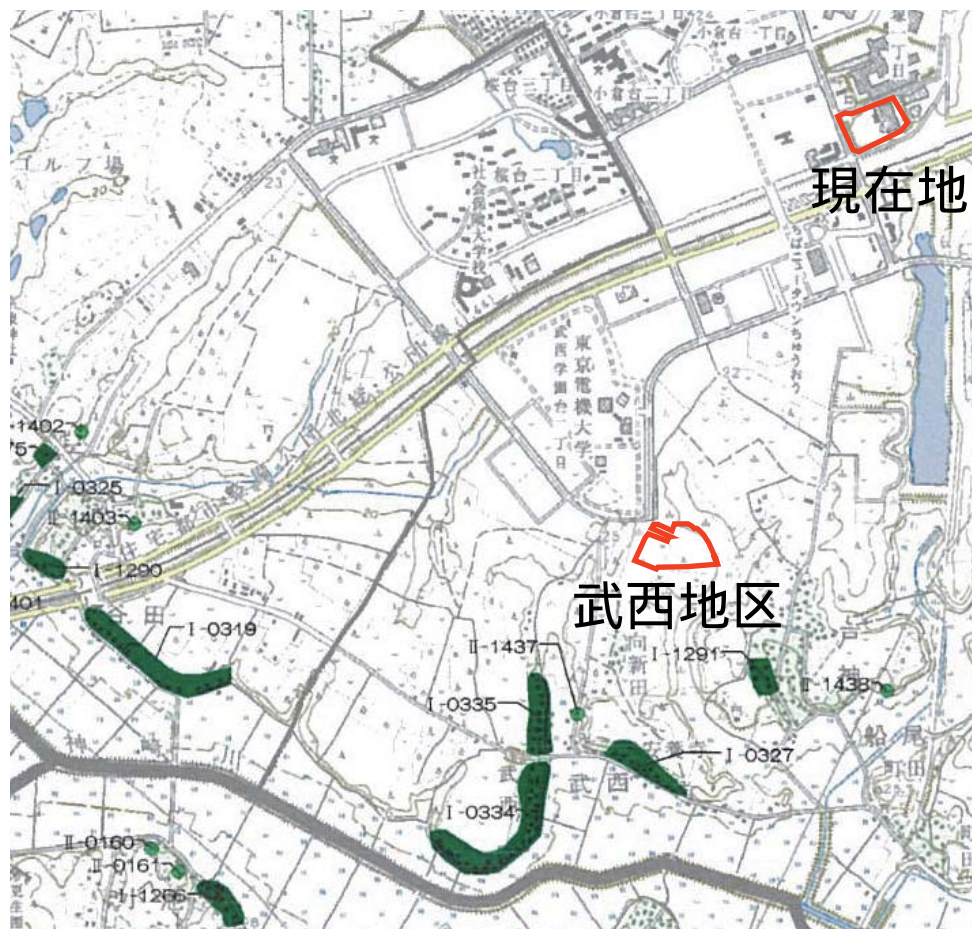


2次審査 大項目：地盤の安定性 小項目：No 13 地形の状況 【最大減点：5点】

評価の考え方	評価基準及び配点	評価する理由等	評価方法	備考
<p>土砂災害が懸念される候補地を減点。</p>	<p>0点：候補地内に急傾斜地崩壊危険区域または土砂災害警戒区域等がない。</p> <p>-5点：候補地内に急傾斜地崩壊危険区域または土砂災害警戒区域等がある。</p>	<p>土砂災害が懸念される土地は対策工事を行うが、なお残存するリスク及び敷地内の土地有効利用が図れなくなる恐れがあることから、小項目として掲げた。</p> <p>最大減点については、前述した通り対策工事を行うこと及び残存するリスクの程度等を勘案し、平均点約16.7点(200点満点/小項目数12)に対して概ね3割の「-5点」とした。</p>	<p>現地調査及び急傾斜地崩壊危険区域の指定状況マップ等の既存資料を確認し、評価基準に照らし合わせ評価した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●岩戸地区 0点 ●滝地区 0点 ●武西地区 0点 ●吉田地区 0点 ●現在地 0点 	<p>※急傾斜地崩壊危険区域とは、崩壊するおそれのある急傾斜地(傾斜度が30度以上の土地)で、その崩壊により相当数の居住者その他の者に危害が生ずるおそれのあるもの及びこれに隣接する土地について、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」の規定に基づき、知事が指定した土地である。</p> <p>急傾斜地崩壊危険箇所Ⅰ、急傾斜地崩壊危険箇所Ⅱ、急傾斜地崩壊危険箇所Ⅲに準ずる斜面、急傾斜地崩壊危険区域指定地及び山腹崩壊危険箇所を指す。</p> <p>※土砂災害警戒区域等とは、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づいて指定・告示された区域である。</p> <p>土砂災害特別警戒区域と土砂災害警戒区域を指す。</p> <p>※建設予定地決定後に実施する環境アセスメントにおいて、本小項目に関連する調査及び評価を行う場合がある。</p>



全ての候補地内に急傾斜地崩壊危険区域または土砂災害警戒区域等は該当がありませんでした。
(0点)



急傾斜崩壊危険箇所

- 急傾斜地崩壊危険箇所 I
- 急傾斜地崩壊危険箇所 II
- 急傾斜地崩壊危険箇所に準ずる斜面 III

No.13 地盤の安定性
地形の状況

3次審査 大項目：周辺住民の理解度・協力度

小項目：No.14 周辺住民の理解度・協力度の状況

【最大加点：40点】

評価の考え方	評価基準及び配点	評価する理由等	評価方法	備考
<p>周辺住民の理解度・協力度が高い候補地が望ましい。 (総合的な評価)</p>	<p>0～40点:周辺住民の意見交換会などにより用地検討委員会が把握した次の状況</p> <p>①応募者及び町内会・自治会等が行った周辺住民意見の集約方法(アンケート実施及び会議開催等)</p> <p>②周辺住民の中間処理施設に対する情報把握の正確さ</p> <p>③周辺住民の中間処理施設に対する理解の深さ</p> <p>④周辺住民の誘致意欲の高さ</p> <p>⑤周辺住民の賛成の程度(反対者の割合、反対の理由及び反対の強さも確認)</p> <p>⑥周辺住民と今後も継続協議が出来る状況か否か。また、その程度</p> <p>⑦町内会・自治会等の同意書の有無等</p>	<p>周辺住民から前回計画に対する理解が得られなかった経緯及び理由などを総合的に勘案すると、周辺住民の理解度・協力度の状況は、次期中間処理施設の用地検討をはじめ、計画、整備及び操業において最重視すべき点であると考え、小項目として掲げた。</p> <p>最大減点については、最重視すべき点であることを考慮し、平均点約16.7点(200点満点/小項目数12)に対して2倍以上の「40点」とした。</p> <p>なお、本小項目は、全小項目中、最大の配点である。</p> <p style="text-align: center;">着目点(①から⑦)の関係性及び点数配分</p> <p>周辺住民における検討のステップとしては、まずは正確な「情報」を把握することで「理解」に繋がり、次に理解が深まることで「誘致意欲」が湧き、周辺住民の大多数の「賛成」を経て、最終的に町内会組織の「同意」に至るものとする。</p> <p>①賛成に向けた意見集約を能動的且つ積極的にされた応募者及び町内会等は、組合との今後における協力体制・協働体制が円滑に構築されるものとする。(配分2点)</p> <p>②前述する「情報」の正確さを評価する。(配分2点)</p> <p>③前述する「理解」の深さを評価する。(配分2点)</p> <p>④前述する「誘致意欲」の高さを評価する。(配分3点)</p> <p>⑤前述する「賛成」の程度を評価する。(配分3点)</p> <p>⑥仮に反対者及び反対意見が多い状況であっても、継続協議が可能な状況であれば、最終的には同意に繋がる可能性があることから、継続協議が可能とする程度を評価する。(配分8点)</p> <p>⑦前述する「同意」の意向を示す町内会組織からの同意書の提出を評価する。(配分20点)</p> <p style="text-align: center;">地元町内会と周辺町内会の重みづけ</p> <p>本小項目は町内会毎に評価し候補地毎に集計するが、「No.5地域住民の日常生活への影響」で、候補地からの距離に応じて減点数を設定しているように、候補地が属する「地元町内会」と候補地の敷地境界から300m以内に位置する「周辺町内会」では、清掃工場が住民に与える影響が異なることから、次のとおり重みづけを設定した。</p> <p>地元町内会：候補地全体の評価の60%</p> <p>周辺町内会：候補地全体の評価の40%</p> <p>(周辺町内会数の多少は勘案しない)</p>	<p>周辺住民意見交換会(14回開催、全体意見交換会(1回開催)及びアンケート結果により把握した理解度・協力度に関する状況を評価した。</p> <p>なお、評点は評価リストを用いた全委員の平均点。</p> <p>●岩戸地区 9点</p> <p>●滝地区 6点</p> <p>●武西地区 7点</p> <p>●吉田地区 27点</p> <p>●現在地 7点</p>	<p>※対象町内会 資料編(12)周辺住民意見交換会の結果参照</p> <p>※住民意見 資料編(12)周辺住民意見交換会の結果参照</p> <p>※周辺住民意見交換会及び全体意見交換会の場で、発言を躊躇される方への配慮として、返信用封筒付きのアンケート用紙を配布した。</p> <p>※7点掲げた着目点の内、②周辺住民の中間処理施設に対する情報把握の正確さ(配分2点)及び③周辺住民の中間処理施設に対する理解の深さ(配分2点)は、性質を同じとする着目点である。よって、実質的には「理解の深さに関すること」とする配分4点の考え方を持つ。</p> <p>※7点掲げた着目点の内、④周辺住民の誘致意欲の高さ(配分3点)及び⑤周辺住民の賛成の程度(配分3点)は、性質を同じとする着目点である。よって、実質的には「賛成の程度に関すること」とする配分6点の考え方を持つ。</p>

3次審査 評価項目No.14 周辺住民の理解度・協力度の状況 評価リスト

対象町内会・自治会名： _____ 地区 _____

評価者名： _____

周辺住民意見交換会などにより用地検討委員会が把握した次の状況に着目し、総合的な評価を行う。

①応募者及び町内会・自治会等が行った周辺住民意見の集約方法（事務局で確認）

- アンケートの実施 有・無 （口答による・記述式による）
- 地域会合の開催 有・無
- その他、意見の集約の実施 有・無

②周辺住民の中間処理施設に対する情報把握の正確さ

正確でない 極めて正確である
 0 — 1 — 2 — 3 — 4 — 5

③周辺住民の中間処理施設に対する理解の深さ

理解が深くない 極めて理解が深い
 0 — 1 — 2 — 3 — 4 — 5

④周辺住民の誘致意欲の高さ

意欲が低い 極めて意欲が高い
 0 — 1 — 2 — 3 — 4 — 5

⑤周辺住民の賛成の程度 ※必要に応じて反対の強さを確認

反対者の割合が多い 賛成者の割合が極めて多い
 0 — 1 — 2 — 3 — 4 — 5

⑥周辺住民と今後も継続協議が出来る状況か否か。また、その程度

継続協議できない 継続協議ができる（極めて前向き）
 0 — 1 — 2 — 3 — 4 — 5

⑦町内会・自治会等の同意書の有無等（事務局で確認）

同意書 有 無

上記のほか、着目すべき点があればご記入ください。

評価の積上げ

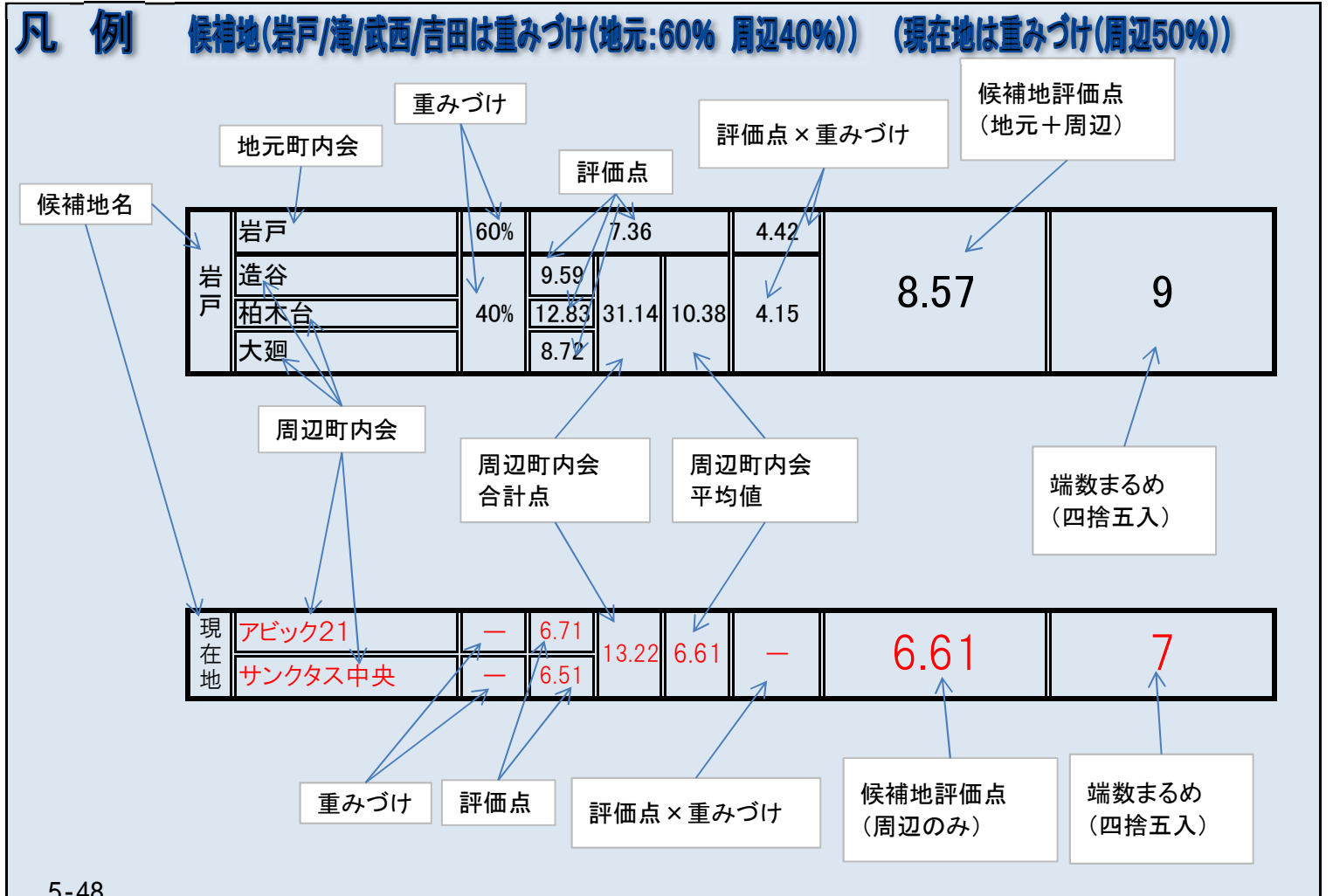
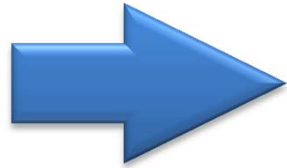
集計(積上げ)	① (2)	② (2)	③ (2)	④ (3)	⑤ (3)	⑥ (8)	⑦ (20)	①~⑥ (20)	⑦ (20)	合計
岩戸	0.0	13.2	12.8	15.6	14.4	54.4	0.0	110.4	0.0	110.4
造谷	0.0	16.0	15.6	19.8	20.4	72.0	0.0	143.8	0.0	143.8
柏木台	0.0	17.6	18.4	31.8	31.8	92.8	0.0	192.4	0.0	192.4
大廻	0.0	18.0	17.2	17.4	17.4	60.8	0.0	130.8	0.0	130.8
滝	0.0	13.6	13.6	15.6	15.6	52.8	0.0	111.2	0.0	111.2
宗甫	0.0	14.8	14.0	12.0	12.0	33.6	0.0	86.4	0.0	86.4
滝野地区連合会	0.0	12.8	11.2	6.6	6.6	22.4	0.0	59.6	0.0	59.6
武西	0.0	12.0	12.0	12.6	12.6	43.2	0.0	92.4	0.0	92.4
戸神	0.0	14.4	15.6	13.2	15.6	46.4	0.0	105.2	0.0	105.2
吉田	30.0	24.8	25.6	42.0	41.4	113.6	300.0	277.4	300.0	577.4
松崎3	0.0	15.6	15.6	23.4	25.2	78.4	0.0	158.2	0.0	158.2
松崎区	0.0	13.6	13.2	14.4	15.6	57.6	0.0	114.4	0.0	114.4
アピック21	0.0	15.2	12.4	12.6	15.6	44.8	0.0	100.6	0.0	100.6
サンクタス中央	0.0	16.4	14.0	10.8	15.0	41.6	0.0	97.8	0.0	97.8

評価の積上げ⇒平均値へ(各町内会の評価点)

集計(平均値)	① (2)	② (2)	③ (2)	④ (3)	⑤ (3)	⑥ (8)	⑦ (20)	①~⑥ (20)	⑦ (20)	合計
岩戸	0.00	0.88	0.85	1.04	0.96	3.63	0.00	7.36	0.00	7.36
造谷	0.00	1.07	1.04	1.32	1.36	4.80	0.00	9.59	0.00	9.59
柏木台	0.00	1.17	1.23	2.12	2.12	6.19	0.00	12.83	0.00	12.83
大廻	0.00	1.20	1.15	1.16	1.16	4.05	0.00	8.72	0.00	8.72
滝	0.00	0.91	0.91	1.04	1.04	3.52	0.00	7.42	0.00	7.42
宗甫	0.00	0.99	0.93	0.80	0.80	2.24	0.00	5.76	0.00	5.76
滝野地区連合会	0.00	0.85	0.75	0.44	0.44	1.49	0.00	3.97	0.00	3.97
武西	0.00	0.80	0.80	0.84	0.84	2.88	0.00	6.16	0.00	6.16
戸神	0.00	0.96	1.04	0.88	1.04	3.09	0.00	7.01	0.00	7.01
吉田	2.00	1.65	1.71	2.80	2.76	7.57	20.00	18.49	20.00	38.49
松崎3	0.00	1.04	1.04	1.56	1.68	5.23	0.00	10.55	0.00	10.55
松崎区	0.00	0.91	0.88	0.96	1.04	3.84	0.00	7.63	0.00	7.63
アピック21	0.00	1.01	0.83	0.84	1.04	2.99	0.00	6.71	0.00	6.71
サンクタス中央	0.00	1.09	0.93	0.72	1.00	2.77	0.00	6.51	0.00	6.51

各町内会評価点⇒候補地評価点(重みづけを考慮して)

岩戸	岩戸	60%	7.36			4.42	8.57	9
	造谷	40%	9.59	31.14	10.38	4.15		
	柏木台		12.83					
	大廻		8.72					
滝	滝	60%	7.42			4.45	6.40	6
	宗甫	40%	5.76	9.73	4.87	1.95		
	滝野地区連合会		3.97					
武西	武西	60%	6.16			3.70	6.50	7
	戸神	40%	7.01	—	—	2.80		
吉田	吉田	60%	38.49			23.09	26.73	27
	松崎3	40%	10.55	18.18	9.09	3.64		
	松崎区		7.63					
現在地	アピック21	—	6.71	13.22	6.61	—	6.61	7
	サンクタス中央	—	6.51	—	—	—		



周辺住民意見交換会資料(出席率・アンケート結果)

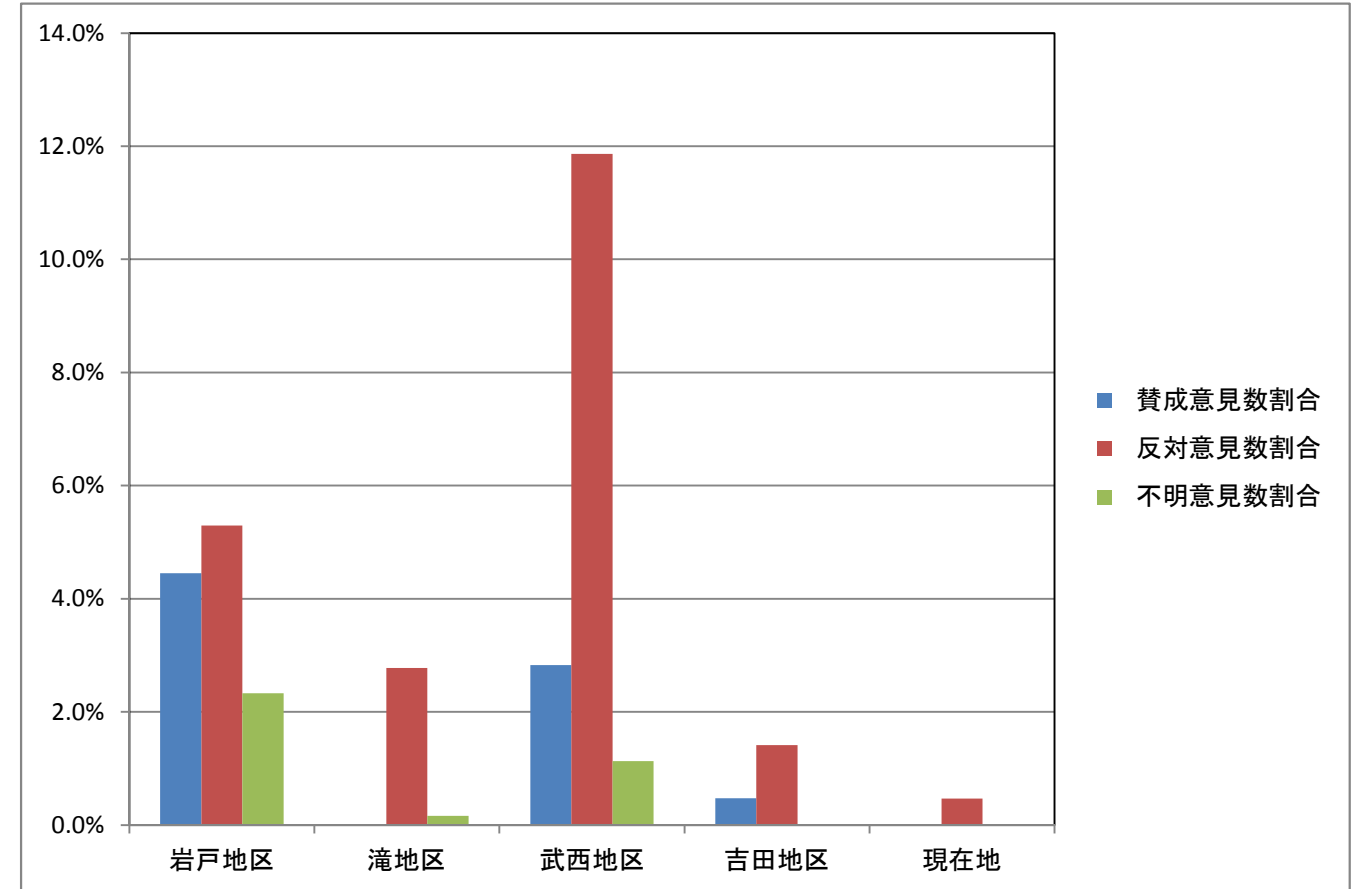
NO.14周辺住民理解度・協力度の状況の評価点を補足する資料として、周辺住民意見交換会で実施したアンケート結果を整理した。

候補地区名	説明会開催地区	実施日時	世帯者数	出席者数	出席率	対象地区 関連 出席者	対象地区 関連 出席者 以外	対象地区 関連 出席率	アンケート 提出数	アンケート 提出率 (アンケート/ 対象地区出 席者数)
岩戸地区	岩戸	6月28日	357	15	4.2%	14	1	3.9%	10	71.4%
	造谷	6月7日	55	18	32.7%	18	0	32.7%	12	66.7%
	柏木台	6月29日	35	31	88.6%	31	0	88.6%	21	67.7%
	大廻	7月6日	25	19	76.0%	18	1	72.0%	15	83.3%
	小計		472	83	17.6%	81	2	17.2%	58	71.6%
滝地区	滝	6月29日	124	19	15.3%	16	3	12.9%	11	68.8%
	宗甫	6月14日	21	15	71.4%	13	2	61.9%	10	76.9%
	滝野自治会 連合会	7月12日	1690	49	2.9%	49	0	2.9%	45	91.8%
	小計		1835	83	4.5%	78	5	4.3%	66	84.6%
武西地区	武西	6月8日	111	24	21.6%	23	1	20.7%	20	87.0%
	戸神	6月21日	66	15	22.7%	14	1	21.2%	8	57.1%
	小計		177	39	22.0%	37	2	29.0%	28	75.7%
吉田地区	吉田	7月5日	168	30	17.9%	29	1	17.3%	19	65.5%
	松崎(区)	7月19日	236	15	6.4%	13	2	5.5%	7	53.8%
	松崎3	6月15日	20	9	45.0%	5	4	25.0%	3	60.0%
	小計		424	54	12.7%	47	7	11.1%	29	61.7%
現在地	サンクタス 千葉NT中央	7月13日	410	16	3.9%	6	10	1.5%	3	50.0%
	小倉台 アビック21	7月13日	665	11	1.7%	2	9	0.3%	2	100.0%
	小計		1075	27	2.5%	8	19	0.7%	5	62.5%

(世帯者数：2014年7月末現在)

候補地区名	(参考) 候補地 評価点
岩戸地区	9
滝地区	6
武西地区	7
吉田地区	27
現在地	7

アンケート結果(賛成・反対等の割合)



候補地区名	岩戸地区	滝地区	武西地区	吉田地区	現在地
賛成意見数(賛成、どちらかといえば賛成)	21	0	5	2	0
反対意見数(反対、どちらかといえば反対)	25	51	21	6	5
不明意見数(わからない)	11	3	2	0	0
アンケート提出数	58	66	28	29	5
賛成意見数割合	4.4%	0.0%	2.8%	0.5%	0.0%
反対意見数割合	5.3%	2.8%	11.9%	1.4%	0.5%
不明意見数割合	2.3%	0.2%	1.1%	0.0%	0.0%

3次審査 大項目：経済性 小項目：No.15 概算事業費 【最大加点：30点】

評価の考え方	評価基準及び配点	評価する理由等	評価方法	備考
<p>用地取得費用、基盤整備費用及建設費用の合計が安価な候補地が望ましい。</p>	<p>0～30点：用地取得費、基盤整備費用及び建設費用の合計が最も安価な候補地を「30点」とし、他の候補地は点数を比例配分する。</p> <p>30点×最も安価な概算事業費 / (当該地の概算事業費)</p> <p>※小数点以下第1位を四捨五入し整数とする。</p>	<p>関係市町の厳しい財政状況、加速化する少子高齢化及び次世代負担の軽減などを勘案すると、事業の経済性は重要視すべき点であると考え、小項目として掲げた。</p> <p>最大減点については、重要視すべき点であることを考慮し、平均点約16.7点(200点満点/小項目数12)に対して2倍弱の「30点」とした。</p> <p>なお、本小項目は、全小項目、「No.14周辺住民の理解度・協力度の状況」に次ぐ配点である。</p>	<p>清掃工場の建設に要する概算費用を算出し、評価基準に照らし合わせ評価した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●岩戸地区 29点 ●滝地区 29点 ●武西地区 29点 ●吉田地区 29点 ●現在地 30点 	<p>※当初、建設後の操業に関する費用の一部も含めて評価する考えであったが、事業計画が明確化されていない現状では不確定要素が極めて多いことなどから評価対象外とし、清掃工場の建設に要する概算費用(概算イニシャルコスト)で評価することとした。</p> <p>※用地取得費用は「不動産鑑定(意見書)」の意見価格を採用した。</p>

3次審査 大項目：経済性 小項目：No.15 概算事業費 評価結果

No.	最大加点	大項目	最大加点	小項目	評価の考え方	加点
	30点		30点			

現時点での概算事業費であり、今後の詳細設計に伴い増減します。

単位：百万円

項目		細目	岩戸地区	滝地区	武西地区	吉田地区	現在地	算出方法	
1	用地取得費用 「不動産鑑定（意見書）」		90	180	175	92	—	参考：現在地 1,783百万円「現在地の用地売却費を計上しない理由」※ 温水センター 505百万円	
2	基盤整備費用	①伐採・除根等及び処分費	65	54	42	19	8	伐採面積から撤去及び処分費を計上。 現在地は、As舗装処分費（テニスコート含む）を計上。	
		②解体工事費（現在地）	1,000	1,000	1,000	1,000	667	解体工事費は10億円を計上。現在地で建替た場合は、対象工事（外構工事等除く）の3分の1が、国の補助金で賄うことが可能。	
		③造成工（切土、盛土、法面整形、緑化）	68	18	70	95	41	概略造成図から数量を算出し施工費を計上。	
		④ブロック積擁壁	18	11	11	32	9		
		⑤基礎工事	（杭基礎）	55	34	55	41	55	杭基礎は既存施設の356本とし、杭長については、既存の地質データを参考に施工費を計上。現在地については建物周りの液状化対策として地盤改良の施工費を計上。
			（地盤改良）	0	0	0	0	411	
		⑥防災調整池工	34	34	35	36	0	用地取得面積から防災調整池の容量を算定し、施工費を計上。なお防災調整池から放流河川までの水路整備については、放流河川や地点及び放流ルートを現段階では設定することが困難であるため概算工事費には含まれない。	
		⑦アクセス道路整備費	23	0	0	44	0	アクセス道路の延長を算出し施工費と用地取得費用を計上。また、軟弱地盤対策として路床改良工を計上。	
		⑧ユーティリティー（上水道、下水道、受電）	24	58	2	81	0	上下水道の引き込み施工費を計上、なお受電費用は不要。（東京電力と協議した結果、現段階では高圧での引き込みが想定されることから費用負担が発生しない。）	
		直接工事費計		1,287	1,209	1,215	1,348	1,191	
諸経費		643	604	607	674	595	直接工事費計×50%で計上。なお諸経費とは、工事に係る共通仮設費、現場管理費、一般管理費及び消費税を示す。		
直接工事費計+諸経費		1,930	1,813	1,822	2,022	1,786			
3	建設費用	ごみ焼却施設156t/日 リサイクルセンター15t/日	8,557	8,589	8,557	8,578	8,557	過去の受注実績からごみ焼却施設はt当たり5,000万円、リサイクルセンターはt当たり5,600万円を計上。ただし、⑤基礎工事（杭基礎）が重複していることから杭基礎+杭基礎に対する諸経費も含め控除。なお、物価上昇率等は考慮していない。	
合計			10,577	10,582	10,554	10,692	10,343	概算事業費が最も安価な候補地を「30点」とし、他の候補地は点数を比例配分する。 30点×最も安価な概算事業費/(当該地における概算事業費)	
評価点			29.34	29.32	29.40	29.02	30.00	※小数点以下第1位を四捨五入し整理する。	
			29	29	29	29	30		

※用地取得費用について、現在地で施設整備を行う場合は、既に組合所有地であるため、用地取得の必要はないことから計上しないこととした。また、他の候補地で施設整備を行う場合には、現在地を公共用地として活用または売却が想定されるが、現時点で現在地の土地利用計画は定まっておらず、たとえ売却したとしてもその費用については、現時点での算出は不確定要素が多い（売却が可能となるのは、次期中間処理施設の稼働、現施設の解体等の後で、約10年後となるため）ことから計上せずに、参考として現時点の「不動産鑑定（意見書）」の意見価格を記載することとした。

No. 15 概算事業費

■基盤整備費用の補足資料

概略造成図を作成するにあたり配慮した事項

- ①候補地の地形図（縮尺：1/1500：標高線2mピッチ）
- ②現在地の建物（計画施設、管理プラザ、煙突、建替施設）の形状と大きさを活用し、候補地ごとに配置プランを作成しつつ計画高さが必要な平場造成計画を立案しました。
- ③防災調整池は、「千葉県における宅地開発等に伴う雨水排水・貯留浸透計画策定の手引」に基づき概算容量を算出しました。なお、調整池の洪水調節容量は、放流河川の流下能力により変化します。

<条件>

洪水調節容量は流域面積1haあたり1,052m³/ha

流域面積を開発面積と等しいと仮定すると、調整池の容量は下記のとおりとなります。

計算例) 岩戸 23,782m²÷1,000×1,052 m³/ha=2,502m³

■防災調整池一覧表

区分	単位	岩戸地区	滝地区	武西地区	吉田地区	現在地
候補地面積	m ²	23,782	24,451	25,406	26,125	24,968
調整池容量	m ³	2,502	2,572	2,673	2,748	2,627
		約2,600	約2,600	約2,700	約2,800	—

■切土、盛土及びブロック積擁壁について

切土法面は1:1.5、盛土法面は1:2.0で設定し、法面が雨や風などで侵食しないように法面緑化を計上しました。

なお、平場面積を確保するため、上記の勾配で対応できない場合は、ブロック積擁壁（1:0.5）を採用しました。




法面勾配は、道路土工指針（社）日本道路協会に基づく標準勾配を採用しています。

切土高5～10m 1:1.2～1:1.5 ⇒ 1:1.5採用

盛土高5～10m 1:1.8～1:2.0 ⇒ 1:2.0採用

切土法面の場合 ⇒ 種子吹付を採用

盛土法面の場合 ⇒ 緑化マットを採用

区分	切土造成	盛土造成	ブロック積擁壁
法面勾配	1:1.5	1:2.0	1:0.5
高1m			

■伐採・除根等について

伐採面積は、造成計画で必要な範囲をCADで算出しました。

伐採は国土交通省土木工事積算基準に基づき、粗（概ね50本/m²未満）と密（概ね50本/100m²以上）の区分から、密を選定し積算しました。木の本数は10m²に2本と設定し、処分費を計上しました。

■残土処分費と購入土について

切土した土砂は、候補地内の盛土材に転用することを基本としますが、盛土量より切土量が多い場合は、残土処分費を計上しました。一方、切土量が少なく盛土量が多い場合は、購入土の費用を計上しました。

■基礎工事（杭基礎、地盤改良）について

候補地周辺の地質調査（千葉県地質環境インフォメーションバンクを参考）より、基礎工事を計上しました。

N値が20以下の地層は杭基礎による費用を計上しました。なお、杭の大きさや本数は既存施設を参考に設定しました。（N値とは、地層の硬軟を示す値。ボーリングする際に重さ63.5kgのハンマーを75cm落下させて試験用サンプラーを、30cm土中に打ち込むのに要する打撃回数をN値といいます。この値が大きくなるほど地層は硬くなります。）また、現在地においては、建物周りの液状化対策として地盤改良費を計上しました。

■土質条件及び杭基礎数量

区分	単位	岩戸地区	滝地区	武西地区	吉田地区	現在地
N値（20未満）	m	13	7	13	9	13
杭長	m	15	9	15	11	15
杭本数	本	356				

■アクセス道路

道路幅は7m（道路幅5m＋歩道1m＋雨水排水0.5m×2箇所）で設定し概算工事費を算出しました。

また、アクセス道路の基礎は深さ1mの地盤改良工を計上しました。なお、道路の用地取得費は、候補地における不動産の意見価格から算出しました。

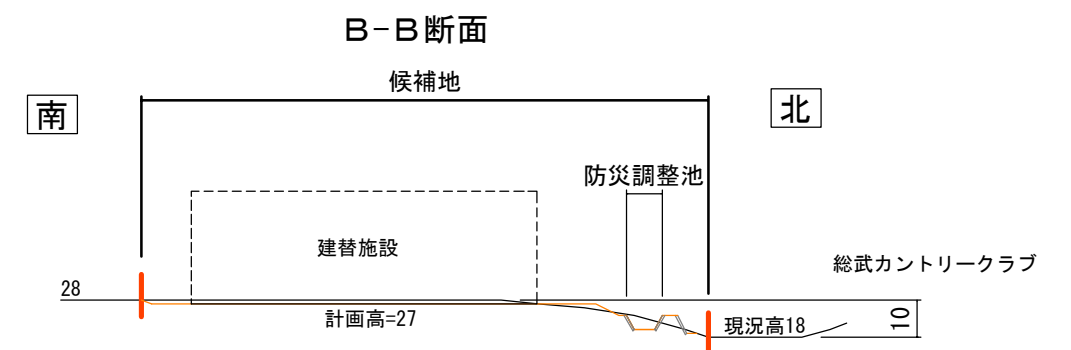
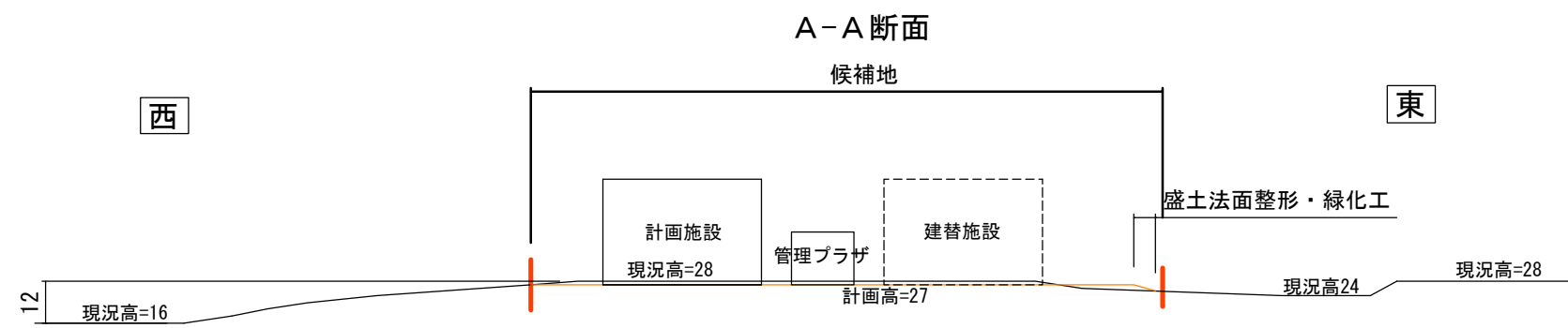
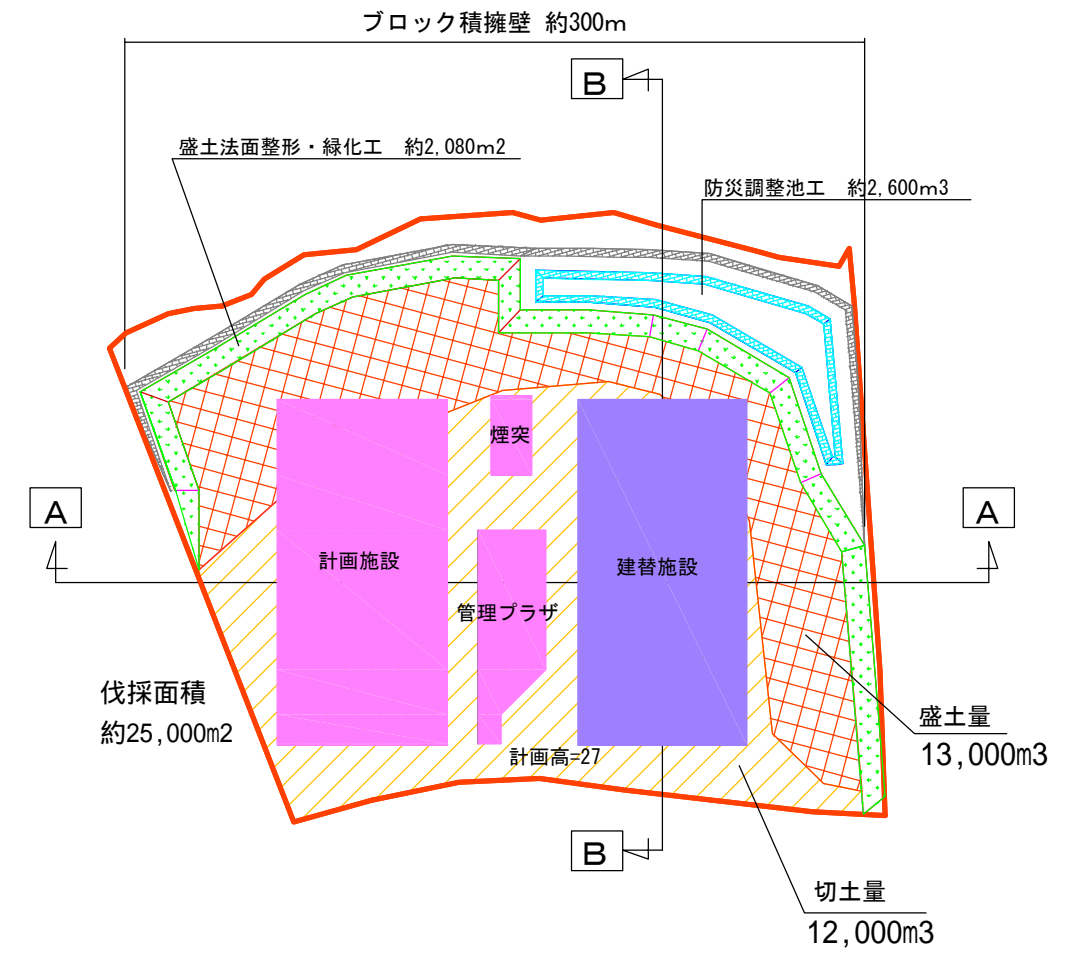
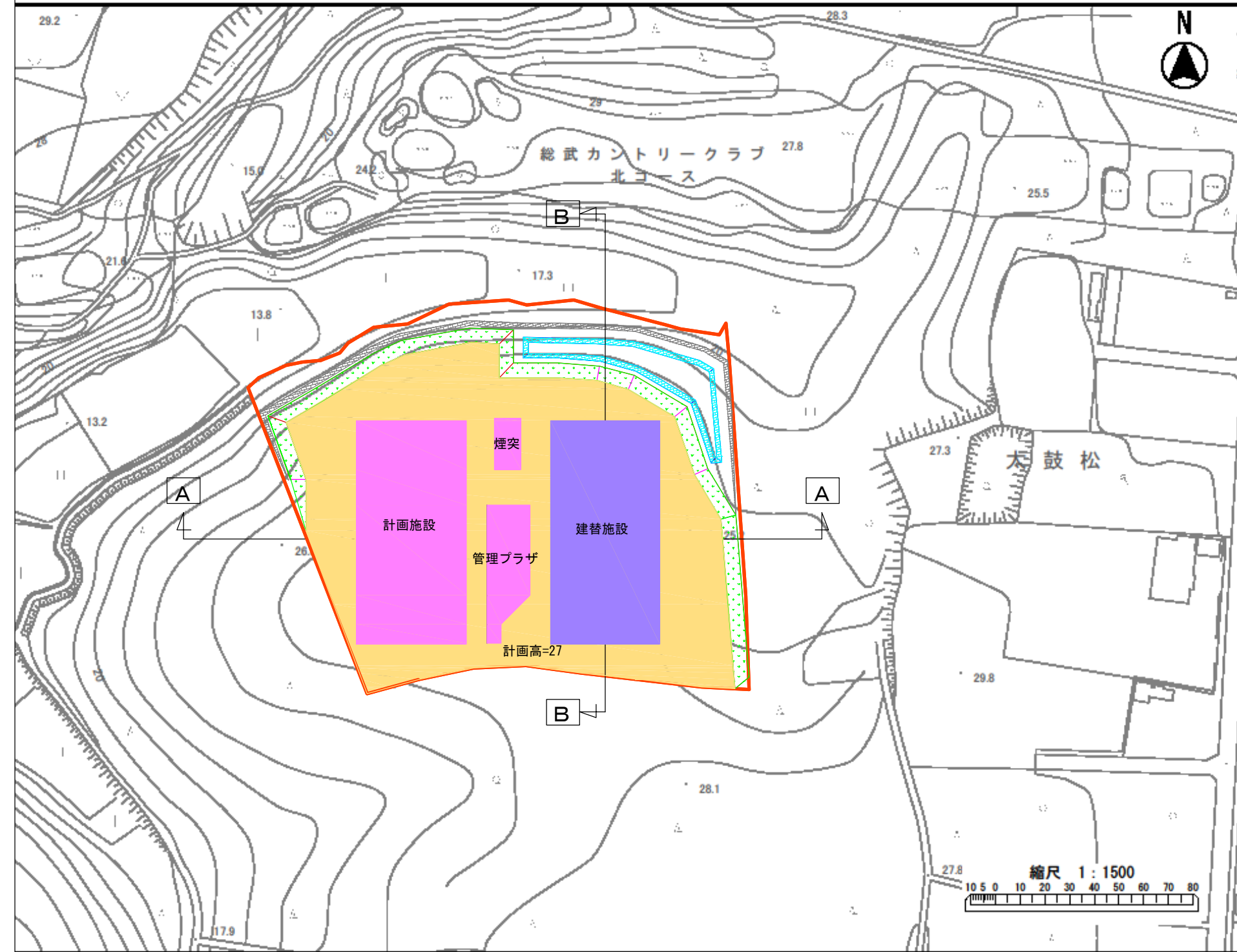
■ユーティリティー

上下水道の引き込み施工費を計上

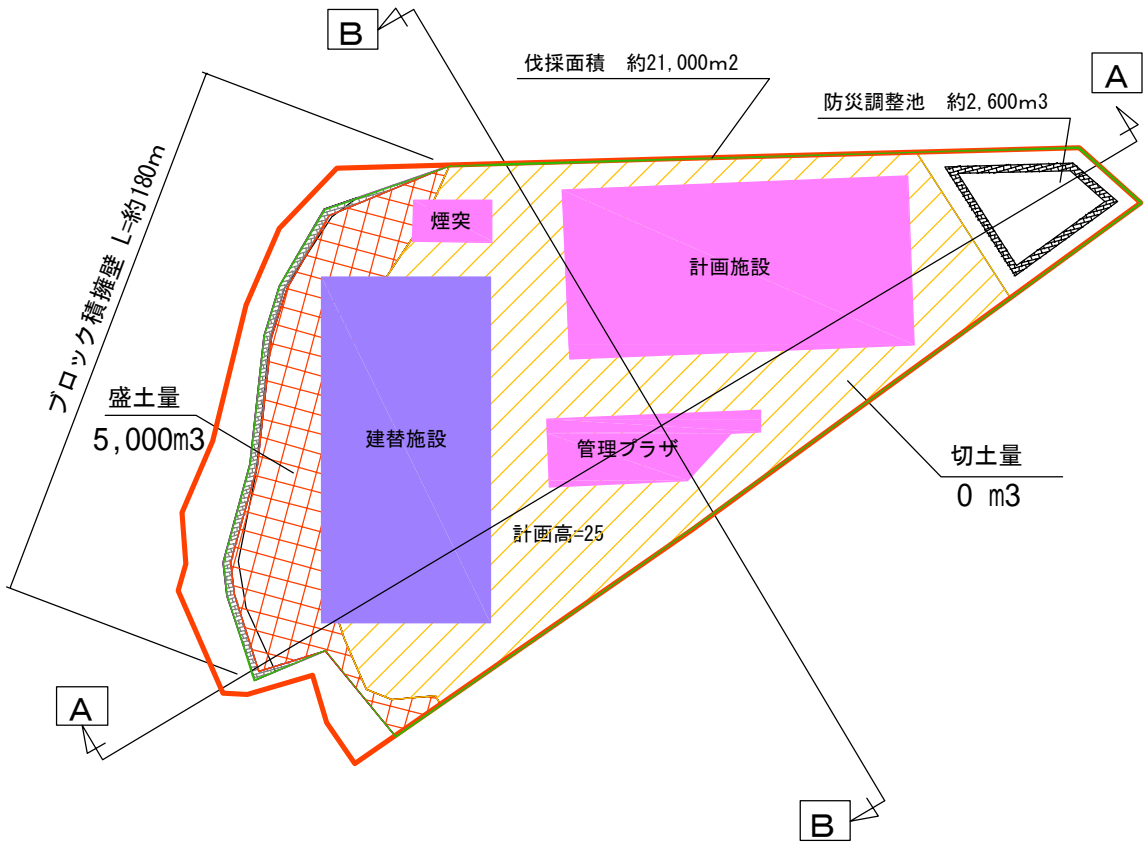
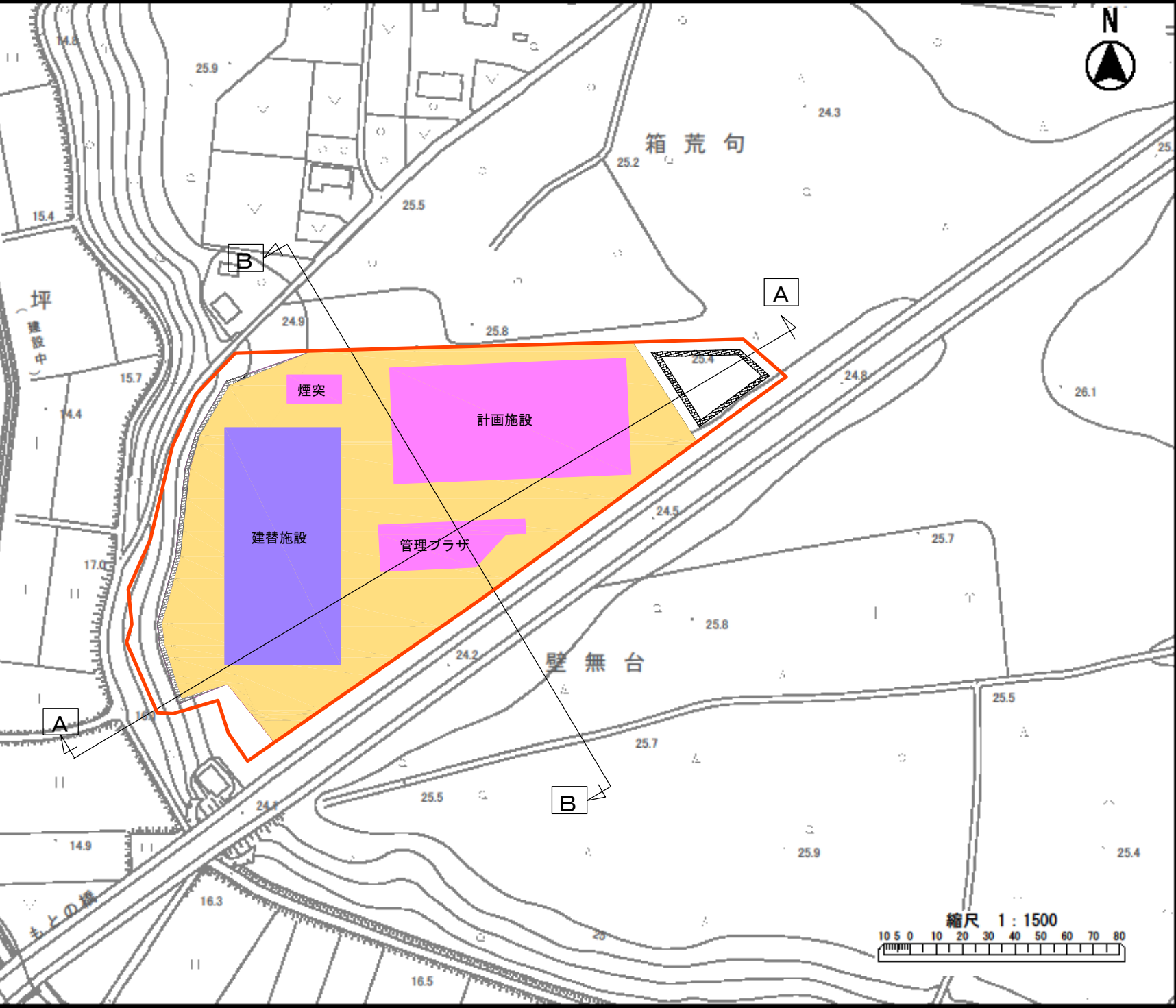
上水道：道路を掘削して水道管を布設し、道路を現況復旧する費用を計上しました。

下水道：道路を掘削して下水道管を布設し、道路を現況復旧する費用を計上しました。

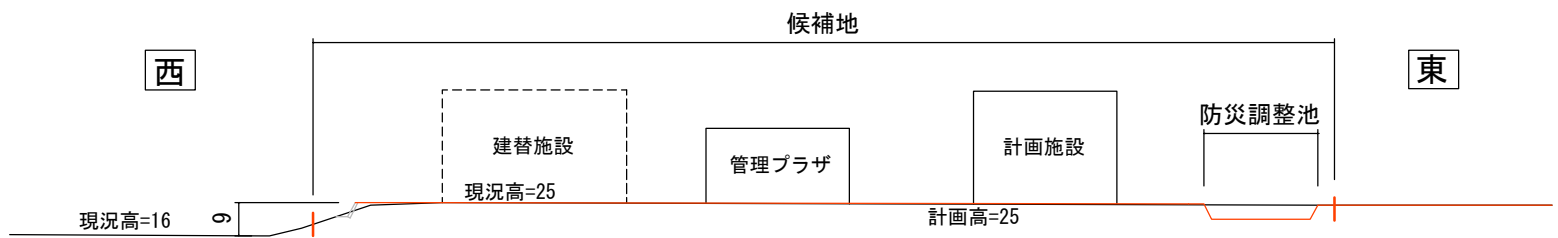
概略造成図 岩戸地区



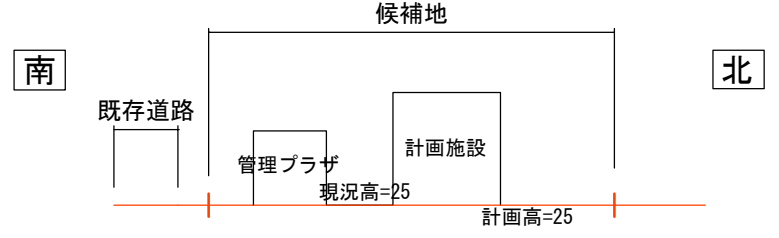
概略造成図 滝地区



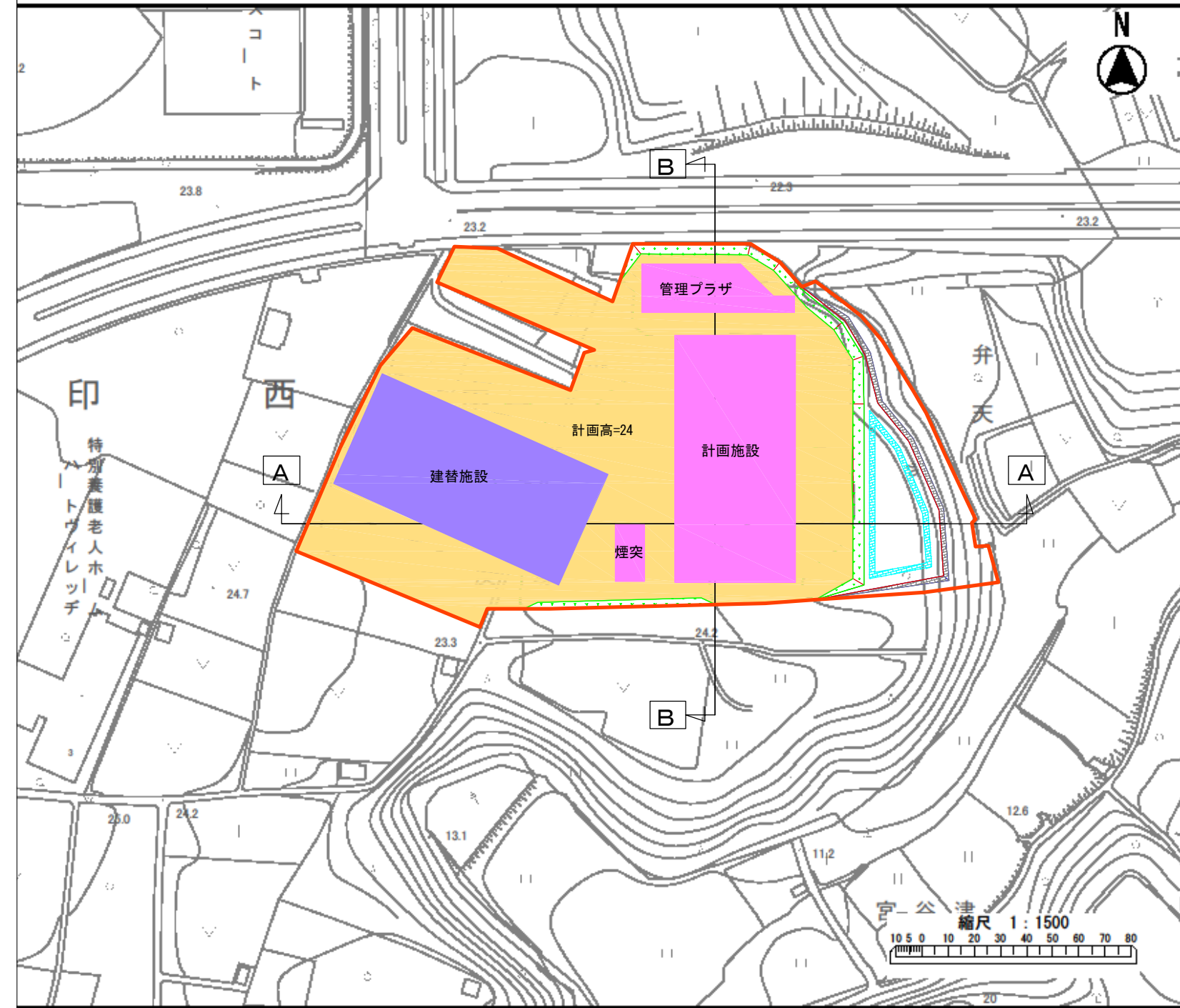
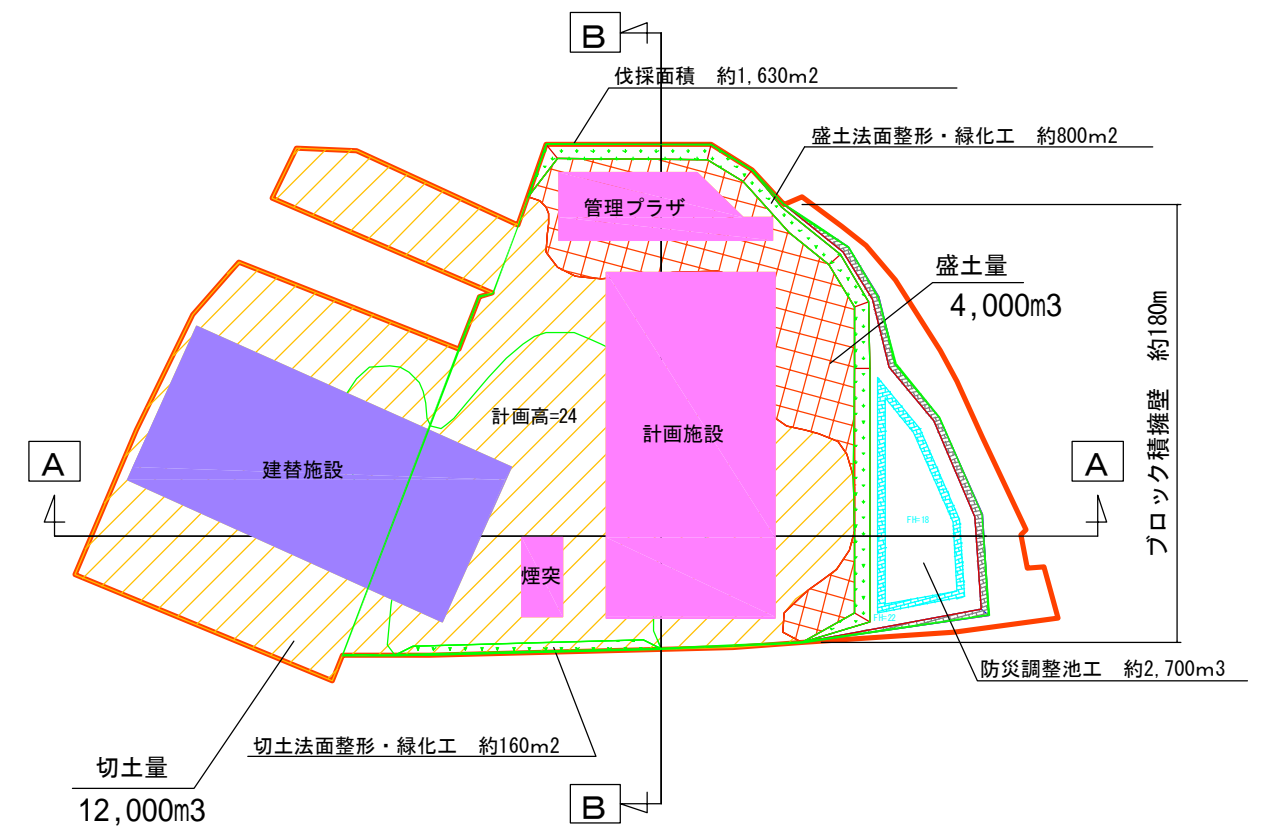
A-A断面



B-B断面

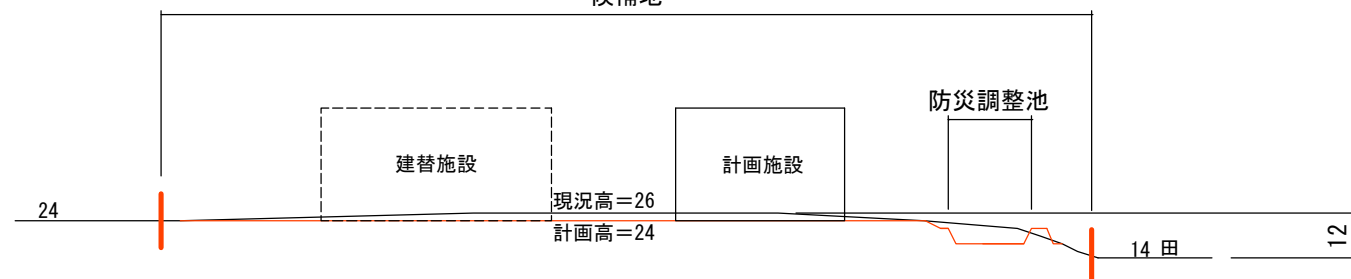


概略造成図 武西地区



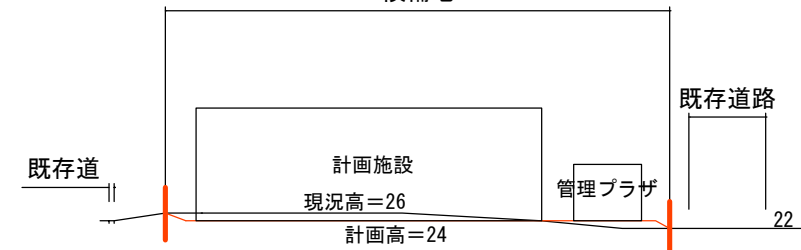
A-A断面

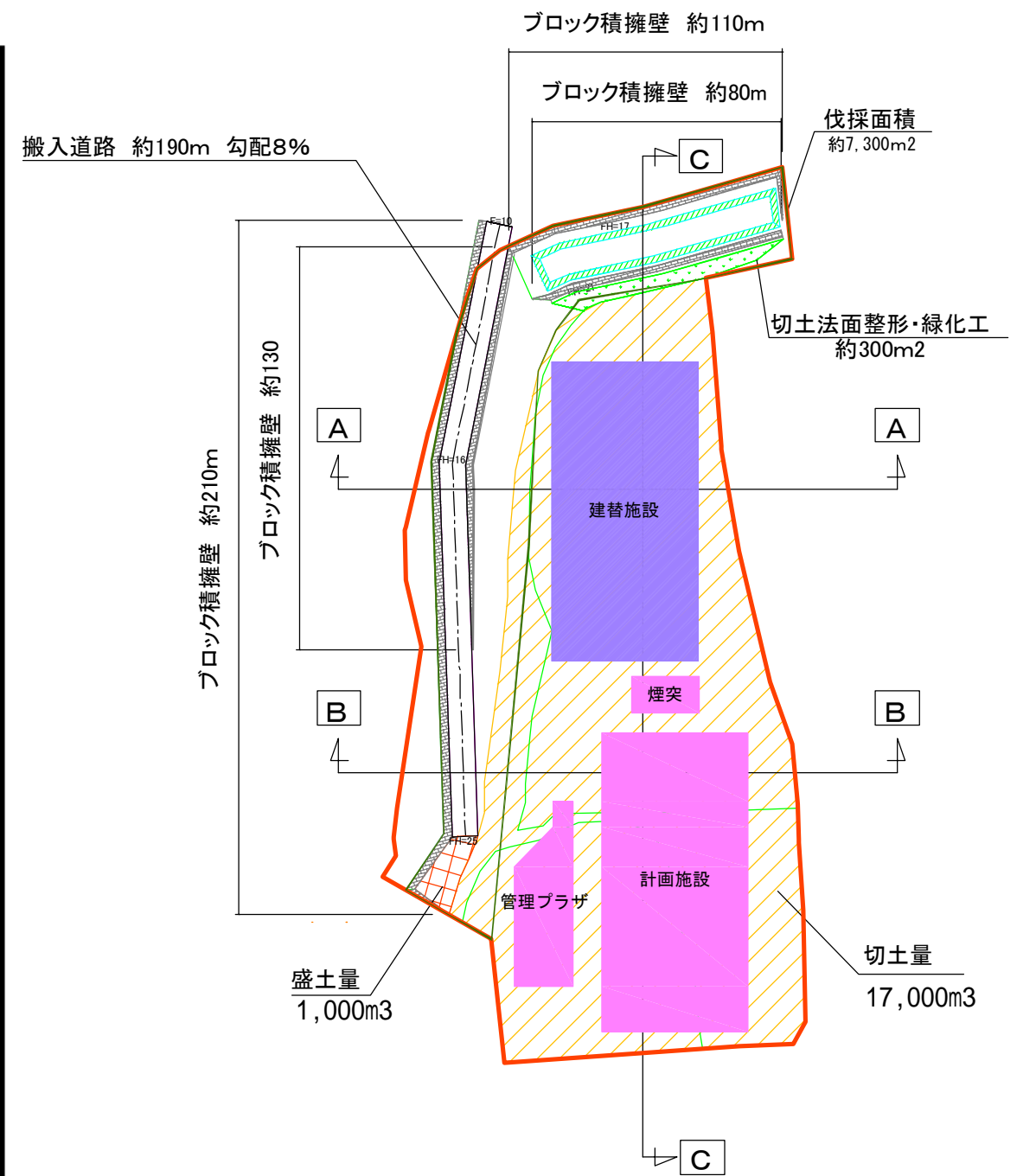
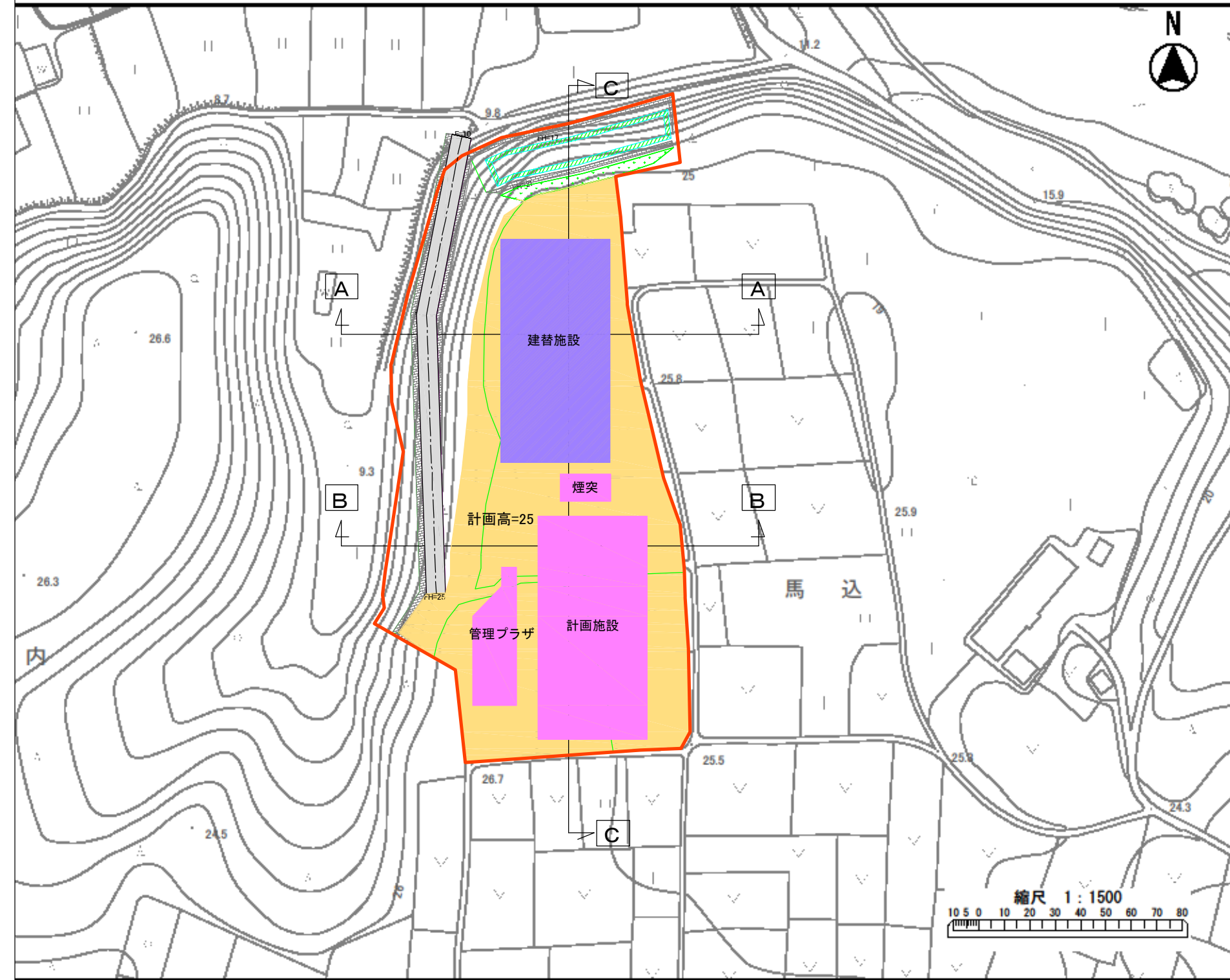
候補地



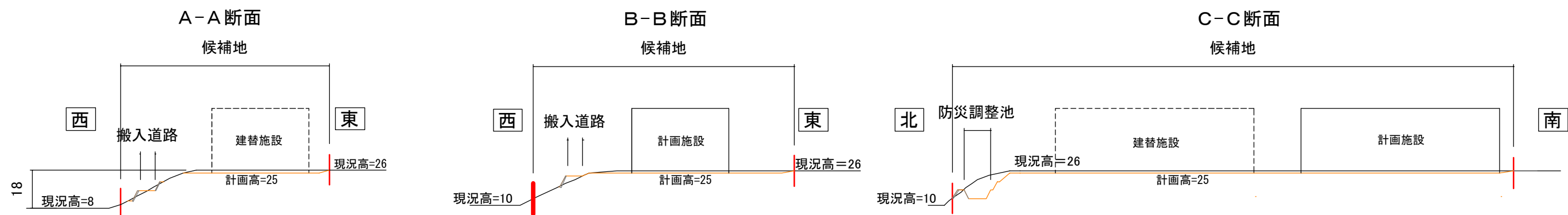
B-B断面

候補地

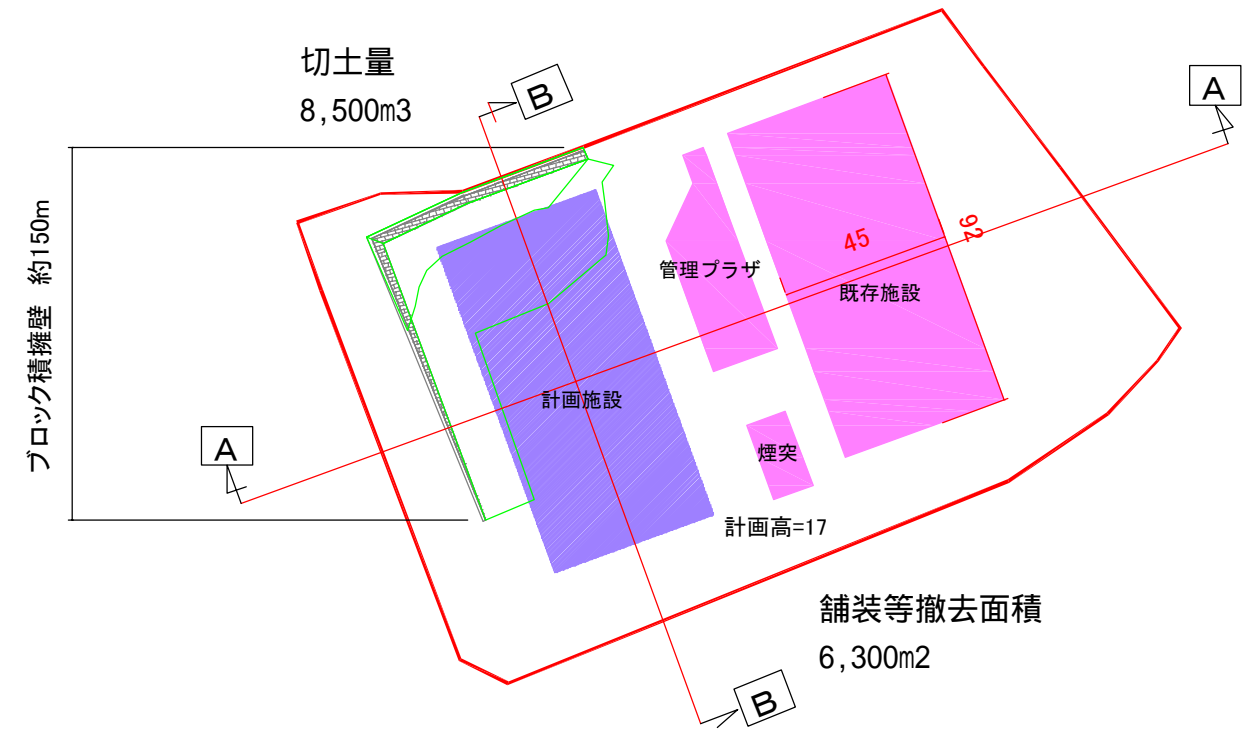
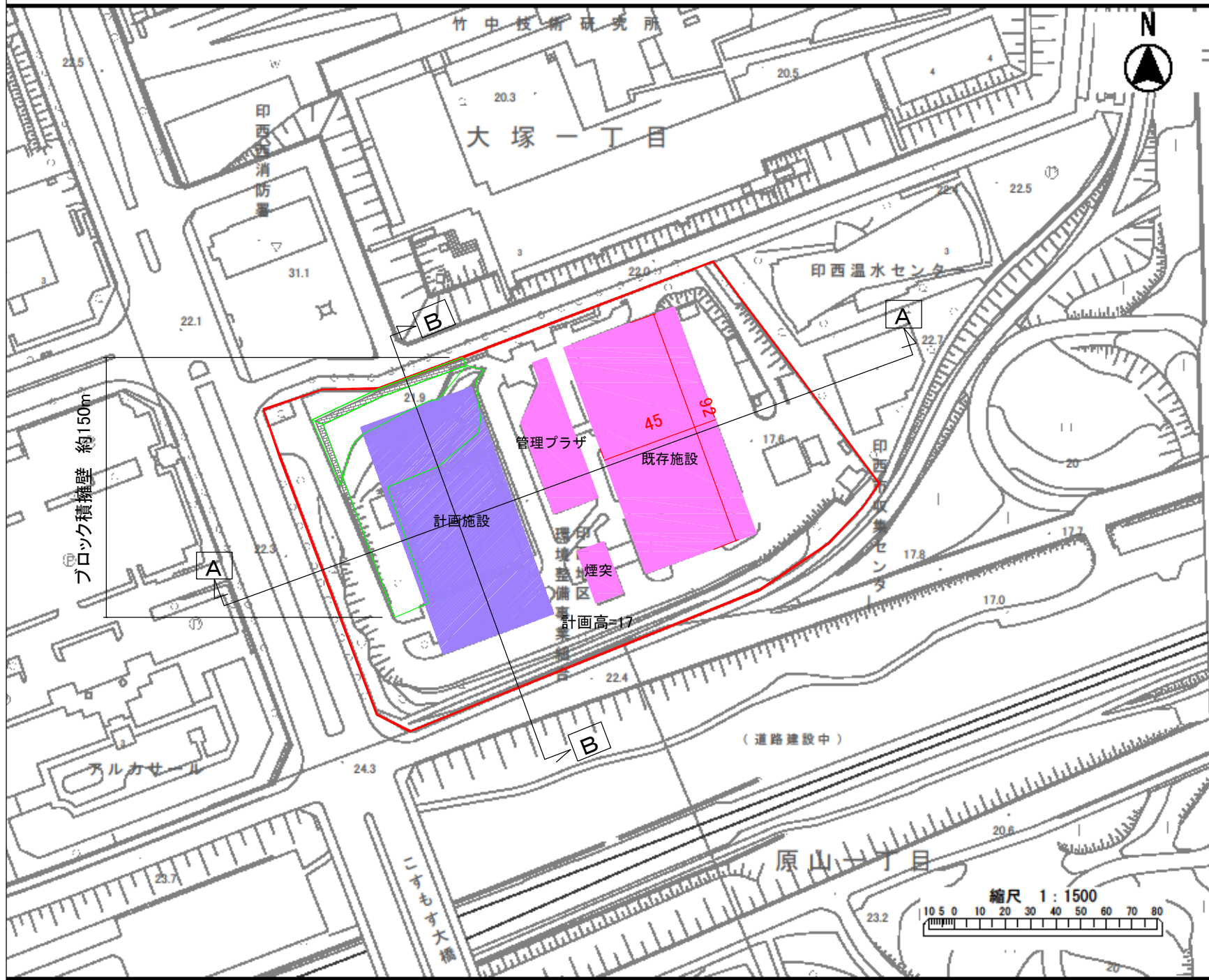




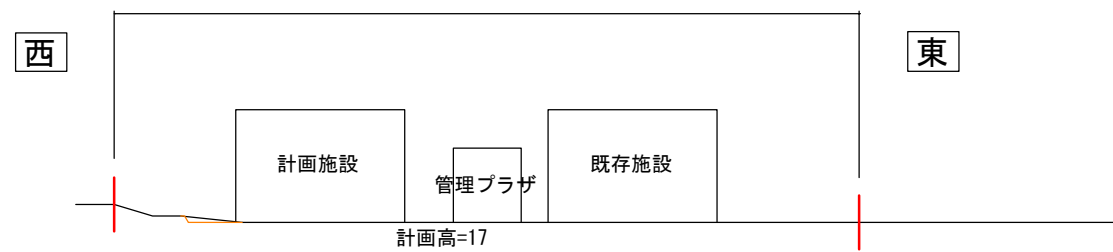
概略造成図 吉田地区



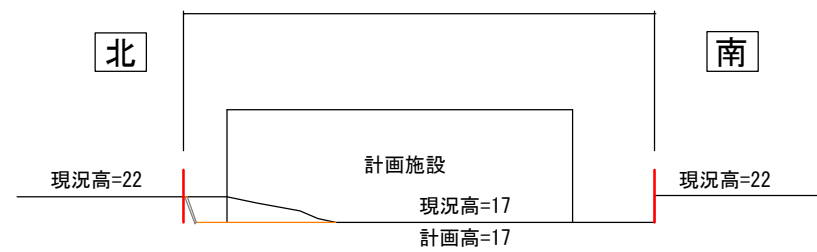
概略造成図 現在地



A-A断面
候補地



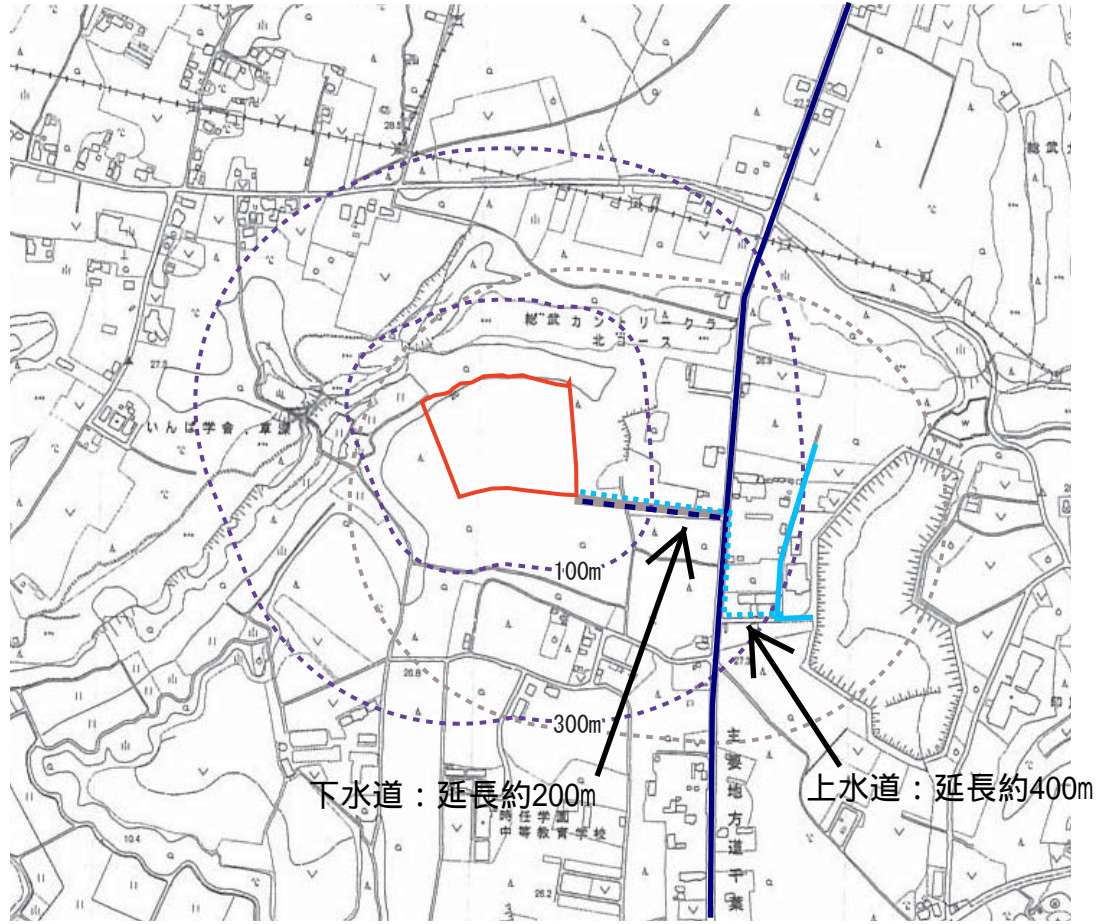
B-B断面
候補地



岩戸地区

上水道：延長約400m

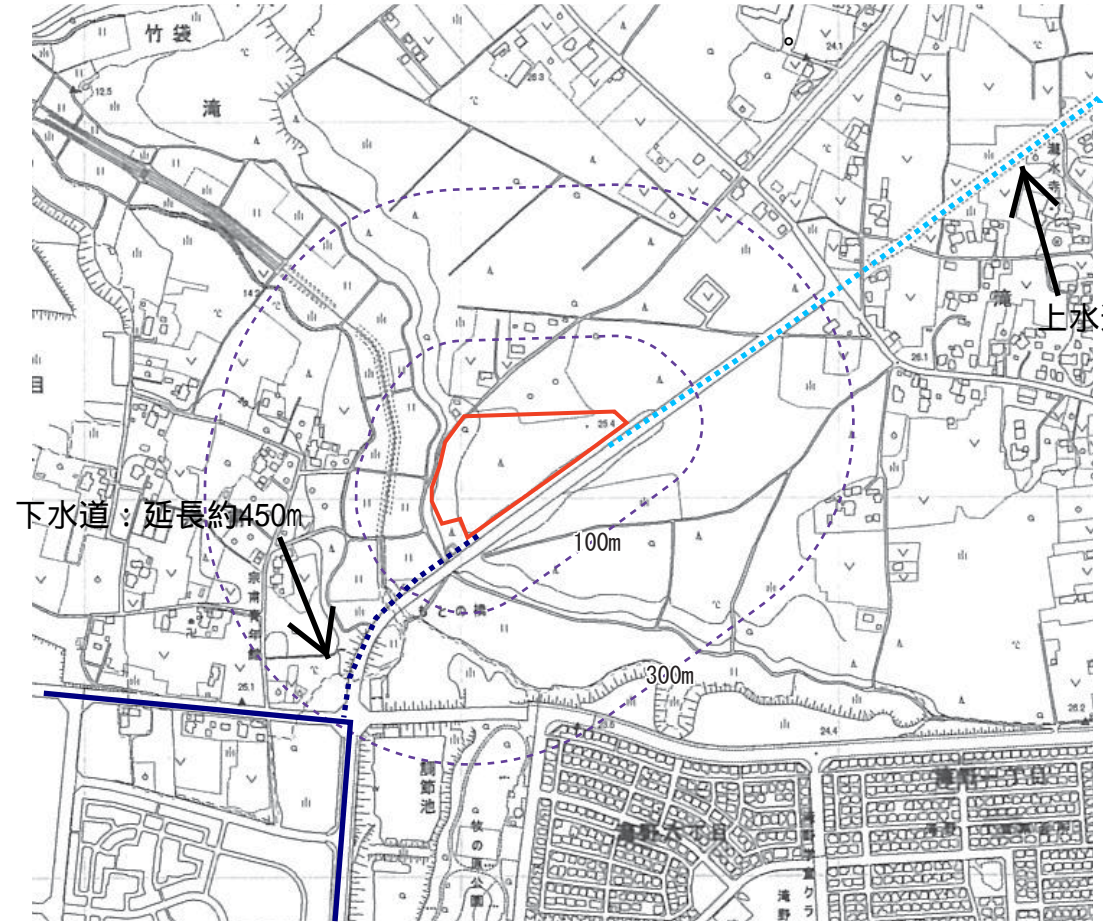
下水道：延長約200m



滝地区

上水道：延長約1.2km

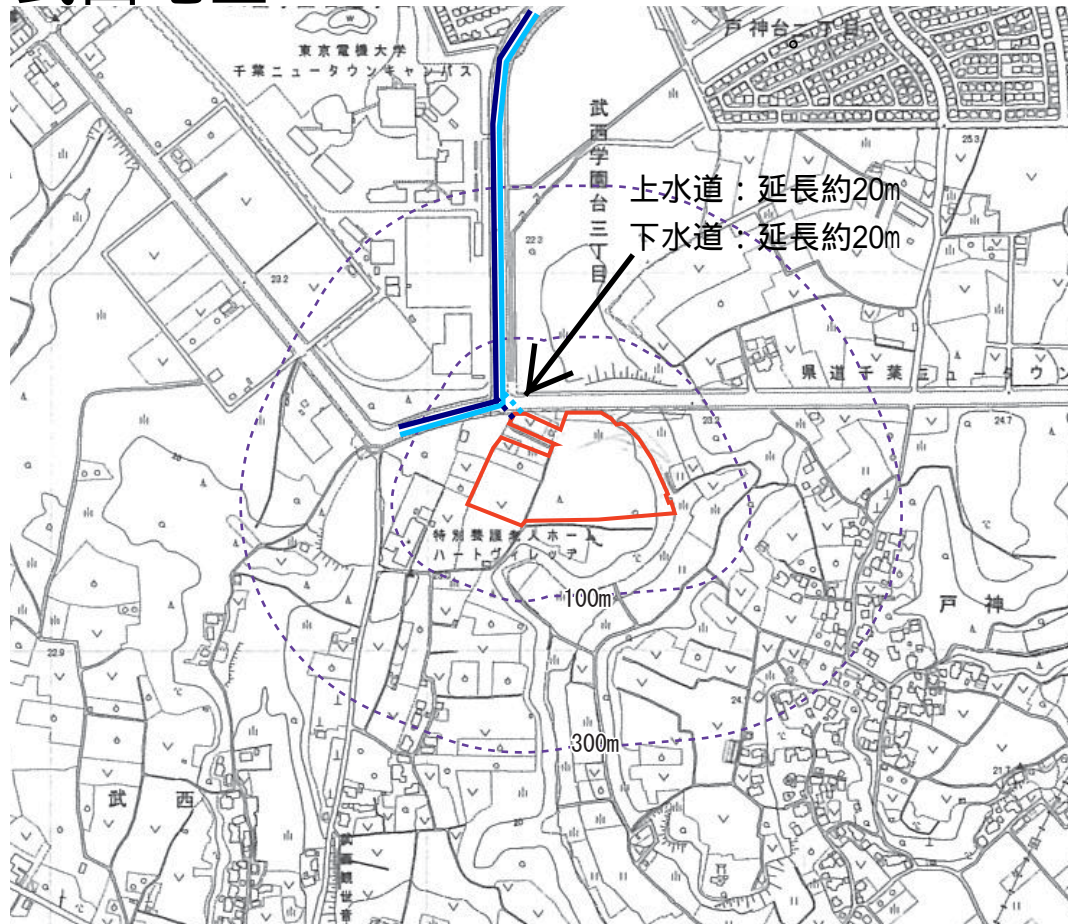
下水道：延長約450m



武西地区

上水道：延長約20m

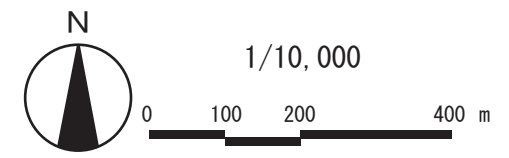
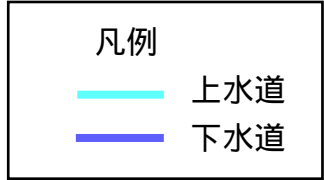
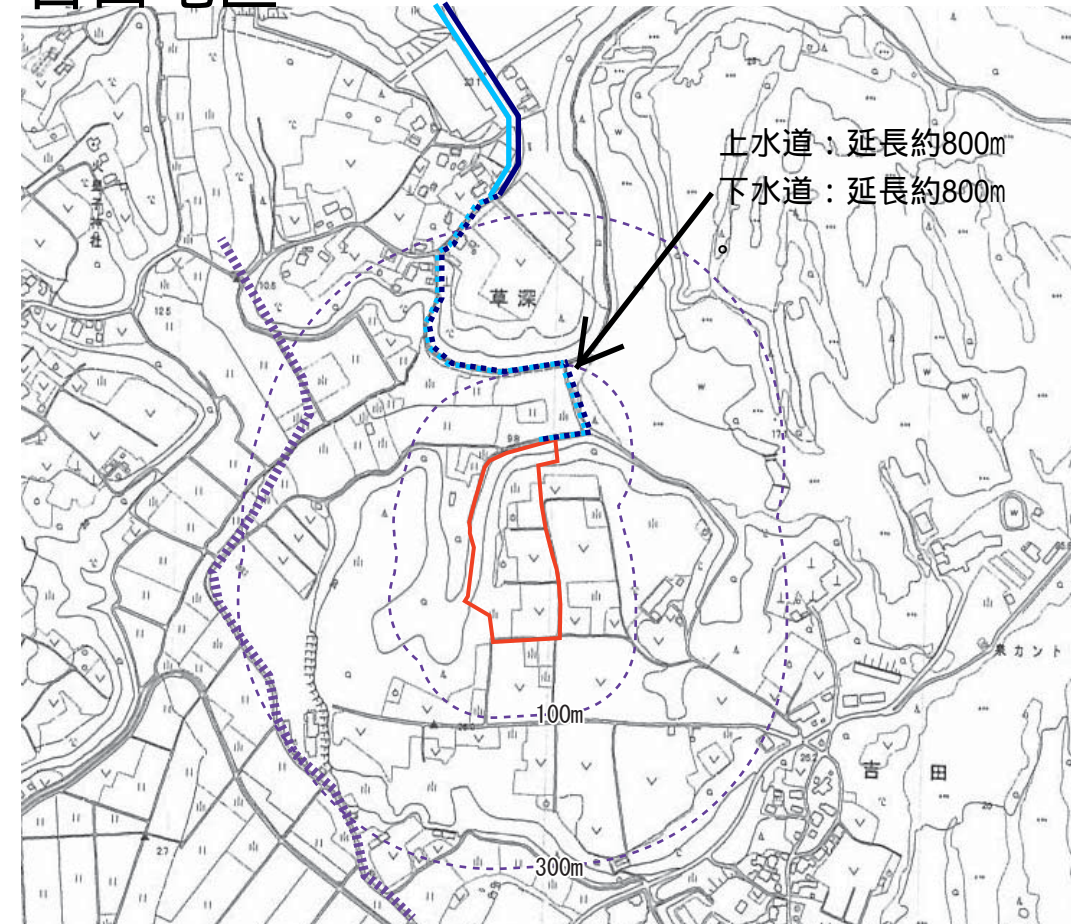
下水道：延長約20m



吉田地区

上水道：延長約800m

下水道：延長約800m



上下水道等のインフラ整備状況

3次審査 大項目：地域社会貢献 小項目：No.16 地域活性化への寄与 【最大加点：30点】

評価の考え方	評価基準及び配点	評価する理由等	評価方法	備考
<p>地域活性化の寄与が高い候補地が望ましい。 (総合的な評価)</p>	<p>0～30点：アクセス環境、周辺状況から効果・優位性・将来性について評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ①排熱利用 ②ごみ焼却施設の利用形態 <ul style="list-style-type: none"> ・環境学習 ・福祉関連 ・情報発信 ③防災機能 ④地域振興（雇用創出含む） 	<p>廃棄物を適切に処理するだけではない清掃工場が付随的に持つポテンシャルを有効活用することで、魅力ある地域づくりが推進されること及び町内会組織の同意と大きな関係性を有することなどを勘案すると、地域活性化への寄与は重要視すべき点であると考え、小項目として掲げた。</p> <p>最大減点については、重要視すべき点であることを考慮し、平均点約16.7点（200点満点／小項目数12）に対して2倍弱の「30点」とした。</p> <p>なお、本小項目は、全小項目中、「No.14周辺住民の理解度・協力度の状況」に次ぐ配点である。</p> <p style="text-align: center;">着目点（①から④）の点数配分</p> <p>①排熱利用は、地域社会に対する大きな貢献が期待出来ると考えられることから、配分は全体の1／3を占める「10点」とした。</p> <p>②ごみ焼却施設の利用形態は、環境学習・福祉関連・情報発信とする3点の内訳を持つものの、施設が持つ機能の有効活用の面が強く、地域社会に対する貢献は比較的限定されると考えられることから、配分は「5点」とした。</p> <p>③防災機能は、昨今の災害対策への意識の高まり及び平成25年5月に閣議決定された廃棄物処理施設整備計画に掲げられた方針などを勘案し、配分は単独機能ではあるが「5点」とした。</p> <p>④雇用創出を含む地域振興は、①の排熱利用と同様、地域社会に対する大きな貢献が期待出来ると考えられることから、配分は全体の1／3を占める「10点」とした。</p>	<p>現地調査、候補地周辺の状況・特性を纏めた資料及び印西市の見解（第16回会議において印西市環境経済部クリーン推進課次期中間処理施設対策室長事務取扱 山口隆担当課長から説明のあった本評価小項目に関する印西市の見解）により評価した。</p> <p>なお、評点は評価リストを用いた全委員の平均点。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●岩戸地区 17点 ●滝地区 19点 ●武西地区 19点 ●吉田地区 19点 ●現在地 20点 	<p>※地域社会貢献に着目し2回目の現地調査を実施した。資料編（11）候補地の現地調査報告参照</p>

3次審査 大項目：地域社会貢献 小項目：No 1 6 地域活性化への寄与 評価結果

評価の積上げ

集計(積上げ)	排熱利用	施設利用形態	防災機能	地域振興	計
岩戸	82.0	39.0	37.0	96.0	254.0
滝	98.0	47.0	45.0	88.0	278.0
武西	100.0	47.0	46.0	86.0	279.0
吉田	92.0	44.0	37.0	112.0	285.0
現在地	122.0	57.0	59.0	60.0	298.0

評価の積上げ⇒平均値へ=各候補地の評価点

集計(平均値)	排熱利用	施設利用形態	防災機能	地域振興	合計	最終点数(まるめ)
岩戸	5.47	2.60	2.47	6.40	16.94	17
滝	6.53	3.13	3.00	5.87	18.53	19
武西	6.67	3.13	3.07	5.73	18.60	19
吉田	6.13	2.93	2.47	7.47	19.00	19
現在地	8.13	3.80	3.93	4.00	19.86	20

3次審査 No.16 地域活性化への寄与 評価リスト

評価者 _____

岩戸地区

候補地の特性		備考	印西クリーンセンターの現状(平成25年度)
周辺の町内会・自治会等(世帯数)	岩戸(357) 造谷(55) 柏木台(35) 大廻(35) 合計482 (2014年7月末現在)	候補地の敷地境界から概ね300m内にかかる町内会・自治会等	・印西地区:人口177,477人(25年度末) ・排熱利用:発生蒸気量130,007t ・熱利用先: 発電 55,381t(42.6%)所内電力の77.3% 温水センター 3,880t(3.0%)約15万人の利用者 地域冷暖房 20,391t(15.7%)地域冷暖房熱源 場内利用 35,832t(27.6%)プラント利用、冷暖房 ※復水(未利用)は14,524t ・環境学習: 2市1町(印西市、白井市、栄町) 小学4年生(全35校) 約2,700人(25年度) 春・秋に分けて施設見学(授業の一環) ・3R: 「リユース(簡易補修及びクリーニング後、希望者に販売)」 25年度実績 提供数 約500点 重さ 約5t 売上 約20万円
人口重心からの距離	印西市(約2.9km) 白井市(約11.1km) 栄町(約9.4km) 印西地区(約4.4km)	人口重心から各候補地の距離図 参照	
アクセス環境	最寄駅から距離	印西牧の原駅(約2.5km)	
	公共交通機関	印西牧の原駅の乗降者数(1日):12,053人(2013年度) 市営ふれあいバス 直近のバス停「柏木台」(約400m)	
主な道路状況	候補地東側の県道64号は片側歩道(約2m)付 (一部、歩道の未整備部あり) 敷地境界から約200mの位置に既存の幹線道路がある	各候補地の図面 参照	
地域周辺の状況	住宅・集会所等	住宅数軒(300m内) 町内会ごとの集会所の位置は候補地から1~2km内	周辺住民が利用する施設の有無
	学校・病院等	いんば学舎(社会福祉法人 印旛福祉会)(約300m) 学校法人 時任学園(約300m)	各候補地の図面 参照
	防 災 (*参照)	指定避難所:宗像小学校(約2km)※1km内に避難場所等がない	候補地周辺の避難所図 参照 (印西市内の小中学校は全て避難所)
	そ の 他	既存の本管からの距離 上水道(約400m) 下水道(約200m)	各候補地の図面 参照

総合的な評価にあたって想定する着眼点			評価
地域社会貢献	評価するための参考事例	町内会・自治会等からの提案	
排熱利用	【場外設置】 ・温浴施設 ・温水プール 【熱供給】 ・地域冷暖房	—	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
ごみ焼却施設の利用形態	・環境学習資料コーナー ・自然保護クラブ等のブース ・高齢者福祉クラブ等のブース ・2市1町インフォメーションセンター ・リサイクル品修理ブース ・リハビリ設備 ・シャワー付きの健康増進ブース ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)の情報交換コーナー、展示ホール	—	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
防災機能	・災害時の救出救援 ・治安機関(市、消防、警察、自衛隊等)の活動拠点 ・災害時の避難場所(周辺住民及び帰宅困難者) ・災害時のライフライン(道路、水道、電気、通信等)復旧事業者の集結活動の拠点 ・避難道路の整備	—	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
地域振興(雇用創出を含む)	・地域事業(教育を含む)とのマッチング事業(例:もみ殻等の焼却処理) ・物産販売等場の提供 ・滞在型農業体験施設の整備 ・道路整備 ・上下水道整備 【熱供給】 ・温室(動植物用) ・施設園芸 ・野菜工場	—	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)

- * 広域避難場所:大規模災害が発生した場合、輻射熱や煙から身を守り生命の安全を確保するため、一時的に避難する場所。
- * 指定避難所:住家の全半焼、焼失、浸水により住宅を失った方又は居住が困難な被災者のうち、避難を必要とする方を一時収容し、保護するための場所。
- * 特別避難所:福祉避難所として、災害時要援護者に特別な配慮をしたり、一時的な避難所として、床上(床下)浸水時や土砂災害警戒区域付近の市民が応急避難するため、市長が認めた場所に開設する。

岩戸地区

至 牧の原駅



柏木台

造谷



県道64号
片側に歩道(約2m幅)



いんば学舎
(社会福祉法人 印旛福祉会)

下水道:約200m

岩戸

大廻

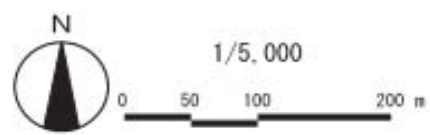
上水道:約400m

学校法人 時任学園(正門)

学校法人 時任学園

至 佐倉市

- : 住宅
- : 学校, 保育所, 図書館
- : 病院, 診療所, 特別養護老人ホーム
- 河川および水路
- - - 町内会等
- - - 上水道
- - - 下水道







3次審査 No.16 地域活性化への寄与 評価リスト

評価者 _____

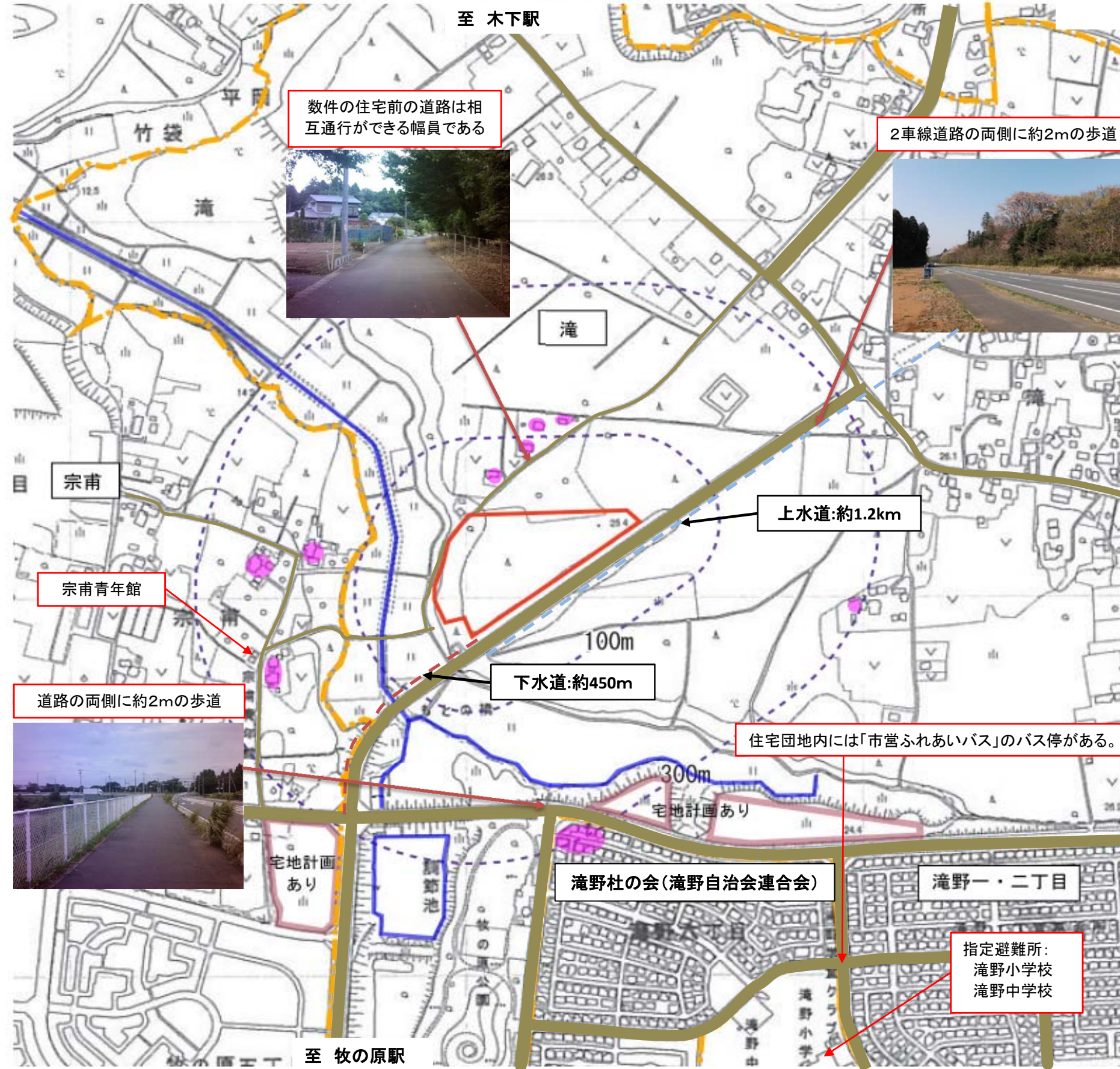
滝地区

候補地の特性		備考	印西クリーンセンターの現状(平成25年度)	
周辺の町内会・自治会等(世帯数)	滝(124) 宗甫(21) 滝野杜の会(滝野自治会連合会)(278) 合計423 (2014年7月末現在)	候補地の敷地境界から概ね300m内にかかる町内会・自治会等	・印西地区:人口177,477人(25年度末) ・排熱利用:発生蒸気量130,007t ・熱利用先: 発電 55,381t(42.6%)所内電力の77.3% 温水センター 3,880t(3.0%)約15万人の利用者 地域冷暖房 20,391t(15.7%)地域冷暖房熱源 場内利用 35,832t(27.6%)プラント利用、冷暖房 ※復水(未利用)は14,524t ・環境学習: 2市1町(印西市、白井市、栄町) 小学4年生(全35校) 約2,700人(25年度) 春・秋に分けて施設見学(授業の一環) ・3R: 「リユース(簡易補修及びクリーニング後、希望者に販売)」 25年度実績 提供数 約500点 重さ 約5t 売上 約20万円	
人口重心からの距離	印西市(約1.7km) 白井市(約11.4km) 栄町(約7.5km) 印西地区(約3.9km)	人口重心から各候補地の距離図 参照		
アクセス環境	最寄駅から距離	印西牧の原駅(約1.3km)		—
	公共交通機関	印西牧の原駅の乗降者数(1日):12,053人(2013年度)		—
		市営ふれあいバス 直近バス停「小林牧場」(約600m)	ふれあいバス運行ルート図 参照	
主な道路状況	候補地南側の2車線道路は両側歩道(約2m)付	各候補地の図面 参照		
地域周辺の状況	住宅・集会所等	住宅数軒(100m内) NT住宅群(300m内) NT住宅計画(300m内) 宗甫青年館(約200m)	周辺住民が利用する施設の有無	
	学校・病院等	滝野小学校(約500m) 滝野中学校(約500m) 印西総合病院(約800m)	各候補地の図面 参照	
	防 災 (*参照)	指定避難所:滝野小学校(約500m) 滝野中学校(約500m)	候補地周辺の避難所図 参照 (印西市内の小中学校は全て避難所)	
	そ の 他	既存の本管からの距離 上水道(約1.2km) 下水道(約450m)	各候補地の図面 参照	

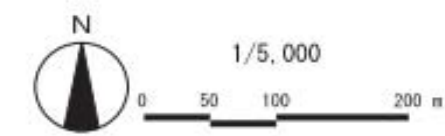
総合的な評価にあたって想定する着眼点			評価
地域社会貢献	評価するための参考事例	町内会・自治会等からの提案	
排熱利用	【場外設置】 ・温浴施設 ・温水プール 【熱供給】 ・地域冷暖房	—	 (効果・優位性・将来性)
ごみ焼却施設の利用形態 環境学習 福祉関連 情報発信	・環境学習資料コーナー ・自然保護クラブ等のブース ・リサイクル品修理ブース ・高齢者福祉クラブ等のブース ・リハビリ設備 ・シャワー付きの健康増進ブース ・2市1町インフォメーションセンター ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)の情報交換コーナー、展示ホール	—	 (効果・優位性・将来性)
防災機能	・災害時の救出救援 ・治安機関(市、消防、警察、自衛隊等)の活動拠点 ・災害時の避難場所(周辺住民及び帰宅困難者) ・災害時のライフライン(道路、水道、電気、通信等)復旧事業者の集結活動の拠点 ・避難道路の整備	—	 (効果・優位性・将来性)
地域振興(雇用創出を含む)	・地域事業(教育を含む)とのマッチング事業(例:もみ殻等の焼却処理) ・物産販売等場の提供 ・滞在型農業体験施設の整備 ・道路整備 ・上下水道整備 【熱供給】 ・温室(動植物用) ・施設園芸 ・野菜工場	—	 (効果・優位性・将来性)

* 広域避難場所:大規模災害が発生した場合、輻射熱や煙から身を守り生命の安全を確保するため、一時的に避難する場所。
 * 指定避難所:住家の全半焼、焼失、浸水により住宅を失った方又は居住が困難な被災者のうち、避難を必要とする方を一時収容し、保護するための場所。
 * 特別避難所:福祉避難所として、災害時要援護者に特別な配慮をしたり、一時的な避難所として、床上(床下)浸水時や土砂災害警戒区域付近の市民が応急避難するため、市長が認めた場所に開設する。

滝地区



- : 住宅
- : 学校, 保育所, 図書館
- : 病院, 診療所, 特別養護老人ホーム
- 河川および水路
- 町内会等
- 上水道
- 下水道



3次審査 No.16 地域活性化への寄与 評価リスト
武西地区

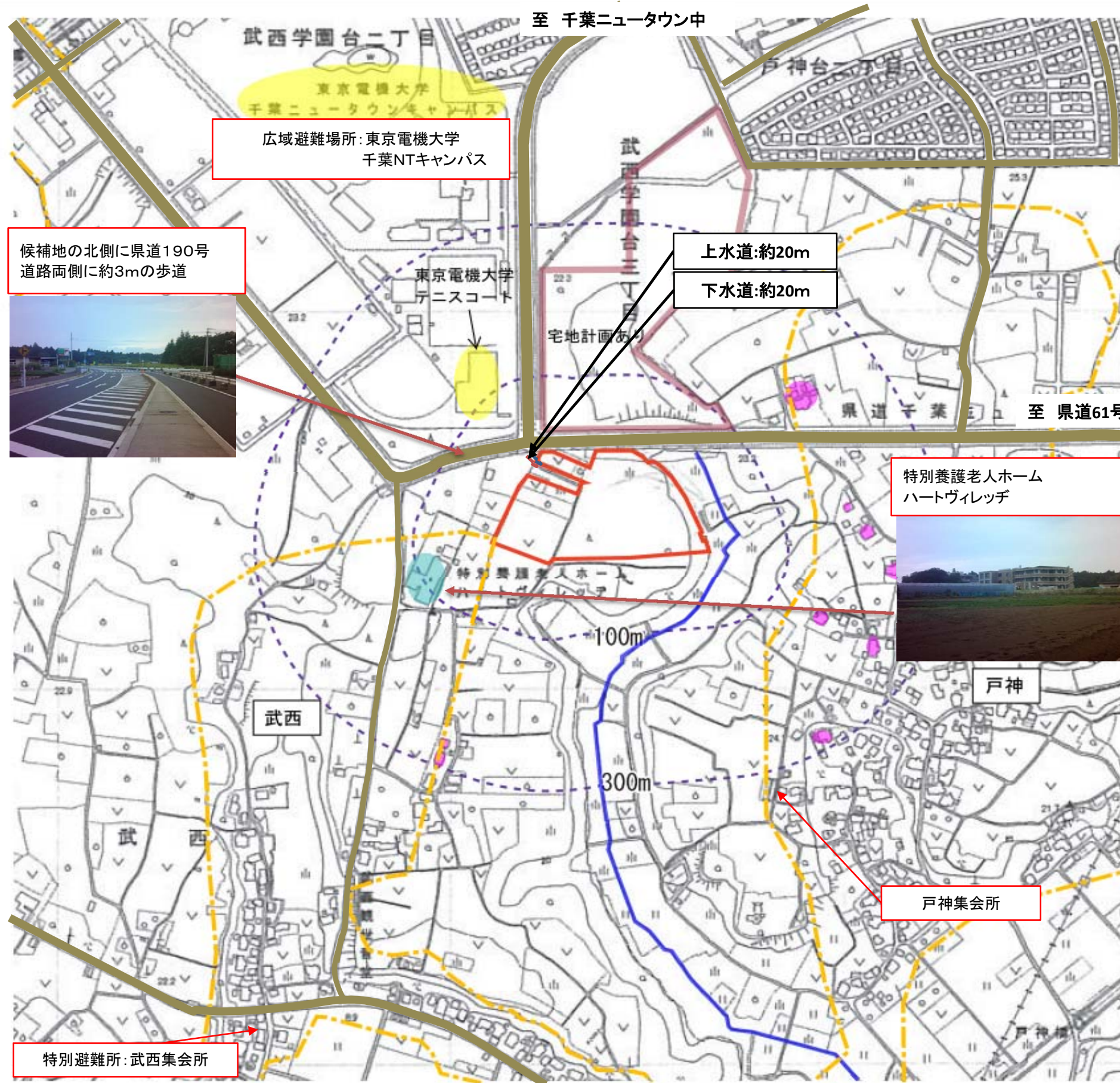
評価者 _____

候補地の特性		備考	印西クリーンセンターの現状(平成25年度)	
周辺の町内会・自治会等(世帯数)	武西(111) 戸神(66) 合計177 (2014年7月末現在)	候補地の敷地境界から概ね300m内にかかる町内会・自治会等	・印西地区:人口177,477人(25年度末) ・排熱利用:発生蒸気量130,007t ・熱利用先: 発電 55,381t(42.6%)所内電力の77.3% 温水センター 3,880t(3.0%)約15万人の利用者 地域冷暖房 20,391t(15.7%)地域冷暖房熱源 場内利用 35,832t(27.6%)プラント利用、冷暖房 ※復水(未利用)は14,524t ・環境学習: 2市1町(印西市、白井市、栄町) 小学4年生(全35校) 約2,700人(25年度) 春・秋に分けて施設見学(授業の一環) ・3R: 「リユース(簡易補修及びクリーニング後、希望者に販売)」 25年度実績 提供数 約500点 重さ 約5t 売上 約20万円	
人口重心からの距離	印西市(約4.4km) 白井市(約5.7km) 栄町(約13.5km) 印西地区(約2.3km)	人口重心から各候補地の距離図 参照		
アクセス環境	最寄駅から距離	千葉ニュータウン中央駅(約1.2km)		—
	公共交通機関	千葉ニュータウン中央駅の乗降者数(1日):30,792人(2013年度)		—
		市営ふれあいバス 直近のバス停は「ハートヴィレッチ前」(約200m)	ふれあいバス運行ルート図 参照	
主な道路状況	候補地北側の県道190号は両側歩道(約3m)付	各候補地の図面 参照		
地域周辺の状況	住宅・集会所等	NT住宅計画(100m内) 住宅数軒(300m内) 武西集会所(約1km) 戸神集会所(約500m)	周辺住民が利用する施設の有無	
	学校・病院等	特別養護老人ホーム ハートヴィレッチ(約100m) 東京電機大学(約100m)	各候補地の図面 参照	
	防 災 (*参照)	広域避難場所:東京電機大学(約100m) 特別避難場所:武西集会所(約1km)	候補地周辺の避難所図 参照 (印西市内の小中学校は全て避難所)	
	そ の 他	既存の本管からの距離 上水道(約20m) 下水道(約20m)	各候補地の図面 参照	

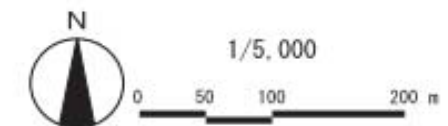
総合的な評価にあたって想定する着眼点			評価
地域社会貢献	評価するための参考事例	町内会・自治会等からの提案	
排熱利用	【場外設置】 ・温浴施設 ・温水プール 【熱供給】 ・地域冷暖房	—	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
ごみ焼却施設の利用形態 環境学習 福祉関連 情報発信	・環境学習資料コーナー ・自然保護クラブ等のブース ・高齢者福祉クラブ等のブース ・2市1町インフォメーションセンター ・リサイクル品修理ブース ・リハビリ設備 ・シャワー付きの健康増進ブース ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)の情報交換コーナー、展示ホール	—	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
防災機能	・災害時の救出救援 ・治安機関(市、消防、警察、自衛隊等)の活動拠点 ・災害時の避難場所(周辺住民及び帰宅困難者) ・災害時のライフライン(道路、水道、電気、通信等)復旧事業者の集結活動の拠点 ・避難道路の整備	—	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
地域振興(雇用創出を含む)	・地域事業(教育を含む)とのマッチング事業(例:もみ殻等の焼却処理) ・物産販売等場の提供 ・滞在型農業体験施設の整備 ・道路整備 ・上下水道整備 【熱供給】 ・温室(動植物用) ・施設園芸 ・野菜工場	—	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)

- * 広域避難場所:大規模災害が発生した場合、輻射熱や煙から身を守り生命の安全を確保するため、一時的に避難する場所。
- * 指定避難所:住家の全半焼、焼失、浸水により住宅を失った方又は居住が困難な被災者のうち、避難を必要とする方を一時収容し、保護するための場所。
- * 特別避難所:福祉避難所として、災害時要援護者に特別な配慮をしたり、一時的な避難所として、床上(床下)浸水時や土砂災害警戒区域付近の市民が応急避難するため、市長が認めた場所に開設する。

武西地区



- : 住宅
- : 学校, 保育所, 図書館
- : 病院, 診療所, 特別養護老人ホーム
- 河川および水路
- - - 町内会等
- - - 上水道
- - - 下水道



3次審査 No.16 地域活性化への寄与 評価リスト

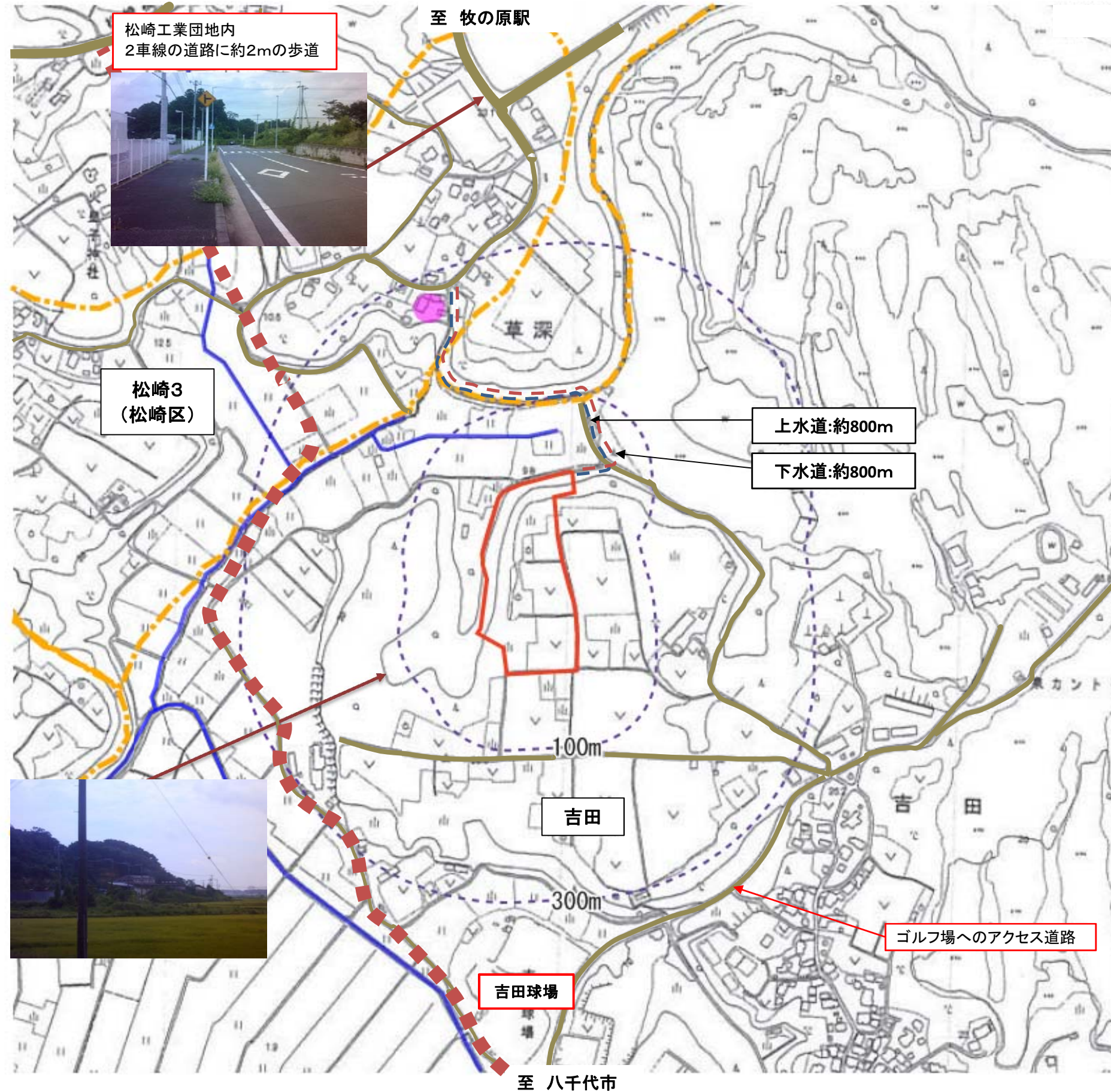
評価者 _____

吉田地区

候補地の特性		備考	印西クリーンセンターの現状(平成25年度)
周辺の町内会・自治会等(世帯数)	吉田(168) 松崎3(20) 合計188 (2014年7月末現在)	候補地の敷地境界から概ね300m内にかかる町内会・自治会等	・印西地区:人口177,477人(25年度末) ・排熱利用:発生蒸気量130,007t ・熱利用先: 発電 55,381t(42.6%)所内電力の77.3% 温水センター 3,880t(3.0%)約15万人の利用者 地域冷暖房 20,391t(15.7%)地域冷暖房熱源 場内利用 35,832t(27.6%)プラント利用、冷暖房 ※復水(未利用)は14,524t ・環境学習: 2市1町(印西市、白井市、栄町) 小学4年生(全35校) 約2,700人(25年度) 春・秋に分けて施設見学(授業の一環) ・3R: 「リユース(簡易補修及びクリーニング後、希望者に販売)」 25年度実績 提供数 約500点 重さ 約5t 売上 約20万円
人口重心からの距離	印西市(約3.6km) 白井市(約9.2km) 栄町(約11.6km) 印西地区(約3.7km)	人口重心から各候補地の距離図 参照	
アクセス環境	最寄駅から距離	印西牧の原駅(約3.8km)	
	公共交通機関	印西牧の原駅の乗降者数(1日):12,053人(2013年度) 市営ふれあいバス 直近バス停「松崎工業団地」(約800m)	
主な道路状況	候補地周辺の道路に歩道はない 候補地北側の松崎工業団地内道路は片側歩道(約2m)付 敷地境界から約235mの位置に印西市の幹線道路計画がある	各候補地の図面 参照	
地域周辺の状況	住宅・集会所等	吉田集落(約500m) 松崎3集落(約800m)	周辺住民が利用する施設の有無
	学校・病院等	候補地から1km内に学校・病院等がない	各候補地の図面 参照
	防 災 (*参照)	特別避難所:松崎むらぐるみ農業集会所(約800m)	候補地周辺の避難所図 参照 (印西市内の小中学校は全て避難所)
	そ の 他	既存の本管からの距離 上水道(約800m) 下水道(約800m) 吉田球場(約300m)	各候補地の図面 参照

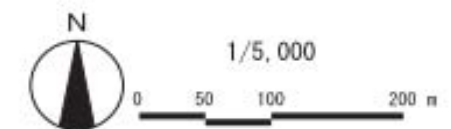
総合的な評価にあたって想定する着眼点			評価
地域社会貢献	評価するための参考事例	町内会・自治会等からの提案	
排熱利用	【場外設置】 ・温浴施設 ・温水プール 【熱供給】 ・地域冷暖房	・植物園 ・バナナ園 ・足湯、温水プール、スポーツジム ・サンセットスパ ・露店風呂、岩盤浴	 (効果・優位性・将来性)
ごみ焼却施設の利用形態	・環境学習資料コーナー ・自然保護クラブ等のブース ・高齢者福祉クラブ等のブース ・2市1町インフォメーションセンター	・リサイクル品修理ブース ・リハビリ設備 ・シャワー付きの健康増進ブース ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)の情報交換コーナー、展示ホール	 (効果・優位性・将来性)
防災機能	・災害時の救出救援 ・治安機関(市、消防、警察、自衛隊等)の活動拠点 ・災害時の避難場所(周辺住民及び帰宅困難者) ・災害時のライフライン(道路、水道、電気、通信等)復旧事業者の集結活動の拠点 ・避難道路の整備	・防災訓練所 ・多目的機能の広域避難所	 (効果・優位性・将来性)
地域振興(雇用創出を含む)	・地域事業(教育を含む)とのマッチング事業(例:もみ殻等の焼却処理) ・物産販売等場の提供 ・滞在型農業体験施設の整備 ・道路整備 ・上下水道整備 【熱供給】 ・温室(動植物用) ・施設園芸 ・野菜工場	・パラグライダー ・サイクル駐車場、ロードサービス(道の駅併設)	 (効果・優位性・将来性)

* 広域避難場所:大規模災害が発生した場合、輻射熱や煙から身を守り生命の安全を確保するため、一時的に避難する場所。
 * 指定避難所:住家の全半焼、焼失、浸水により住宅を失った方又は居住が困難な被災者のうち、避難を必要とする方を一時収容し、保護するための場所。
 * 特別避難所:福祉避難所として、災害時要援護者に特別な配慮をしたり、一時的な避難所として、床上(床下)浸水時や土砂災害警戒区域付近の市民が応急避難するため、市長が認めた場所に開設する。



吉田地区

- : 住宅
- : 学校, 保育所, 図書館
- : 病院, 診療所, 特別養護老人ホーム
- 河川および水路
- 町内会等
- - - 上水道
- - - 下水道
- · - · - 印西市計画幹線道路



所在地

候補地の特性		備考	印西クリーンセンターの現状(平成25年度)	
周辺の町内会・自治会等(世帯数)	小倉台アビック21(665) サンクタス千葉NT中央(410) 合計1,075 (2014年7月末現在)	候補地の敷地境界から概ね300m内にかかる町内会・自治会等	・印西地区:人口177,477人(25年度末) ・排熱利用:発生蒸気量130,007t ・熱利用先: 発電 55,381t(42.6%)所内電力の77.3% 温水センター 3,880t(3.0%)約15万人の利用者 地域冷暖房 20,391t(15.7%)地域冷暖房熱源 場内利用 35,832t(27.6%)プラント利用、冷暖房 ※復水(未利用)は14,524t ・環境学習: 2市1町(印西市、白井市、栄町) 小学4年生(全35校) 約2,700人(25年度) 春・秋に分けて施設見学(授業の一環) ・3R: 「リユース(簡易補修及びクリーニング後、希望者に販売)」 25年度実績 提供数 約500点 重さ 約5t 売上 約20万円	
人口重心からの距離	印西市(約3.4km) 白井市(約6.6km) 栄町(約12.4km) 印西地区(約1.0km)	人口重心から各候補地の距離図 参照		
アクセス環境	最寄駅から距離	千葉ニュータウン中央駅(約200m)		—
	公共交通機関	千葉ニュータウン中央駅の乗降者数(1日):30,792人(2013年度)		—
		駅北口、南口には民営バス及び市営ふれあいバスのバス停がある	ふれあいバス運行ルート図 参照	
主な道路状況	候補地周辺の道路に両側歩道(約3m)付	各候補地の図面 参照		
地域周辺の状況	住宅・集会所等	集合住宅(高層)(約300m内)※集会所併設 企業ビル(300m内) 中央駅前地域交流館(約200m)	周辺住民が利用する施設の有無	
	学校・病院等	歯科医院(約100m) 病院(予定地)(約130m) 内野小学校(約500m) 小倉台小学校(約700m) 原山中学校(約800m) 東京電機大学(約1km)	各候補地の図面 参照	
	防 災 (*参照)	広域避難場所:北総花の丘公園(約200m) 東京電機大学(約1km) 指定避難所:内野小学校(約500m) 小倉台小学校(約700m) 原山中学校(約800m) 特別避難所:中央駅前地域交流館(約200m)	候補地周辺の避難所図 参照 印西市内の小中学校は全て避難所	
	そ の 他	駅前商業施設(約100m)	各候補地の図面 参照	

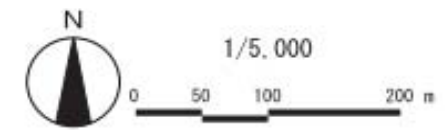
総合的な評価にあたって想定する着眼点			評価
地域社会貢献	評価するための参考事例	町内会・自治会等からの提案	
排熱利用	【場外設置】 ・温浴施設 ・温水プール 【熱供給】 ・地域冷暖房	—	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
ごみ焼却施設の利用形態	・環境学習資料コーナー ・自然保護クラブ等のブース ・高齢者福祉クラブ等のブース ・2市1町インフォメーションセンター	・リサイクル品修理ブース ・リハビリ設備 ・シャワー付きの健康増進ブース ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)の情報交換コーナー、展示ホール	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
防災機能	・災害時の救出救援 ・治安機関(市、消防、警察、自衛隊等)の活動拠点 ・災害時の避難場所(周辺住民及び帰宅困難者) ・災害時のライフライン(道路、水道、電気、通信等)復旧事業者の集結活動の拠点 ・避難道路の整備	—	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
地域振興(雇用創出を含む)	・地域事業(教育を含む)とのマッチング事業(例:もみ殻等の焼却処理) ・物産販売等場の提供 ・滞在型農業体験施設の整備 ・道路整備 ・上下水道整備 【熱供給】 ・温室(動植物用) ・施設園芸 ・野菜工場	—	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)

* 広域避難場所:大規模災害が発生した場合、輻射熱や煙から身を守り生命の安全を確保するため、一時的に避難する場所。
 * 指定避難所:住家の全半焼、焼失、浸水により住宅を失った方又は居住が困難な被災者のうち、避難を必要とする方を一時収容し、保護するための場所。
 * 特別避難所:福祉避難所として、災害時要援護者に特別な配慮をしたり、一時的な避難所として、床上(床下)浸水時や土砂災害警戒区域付近の市民が応急避難するため、市長が認めた場所に開設する。

現在地



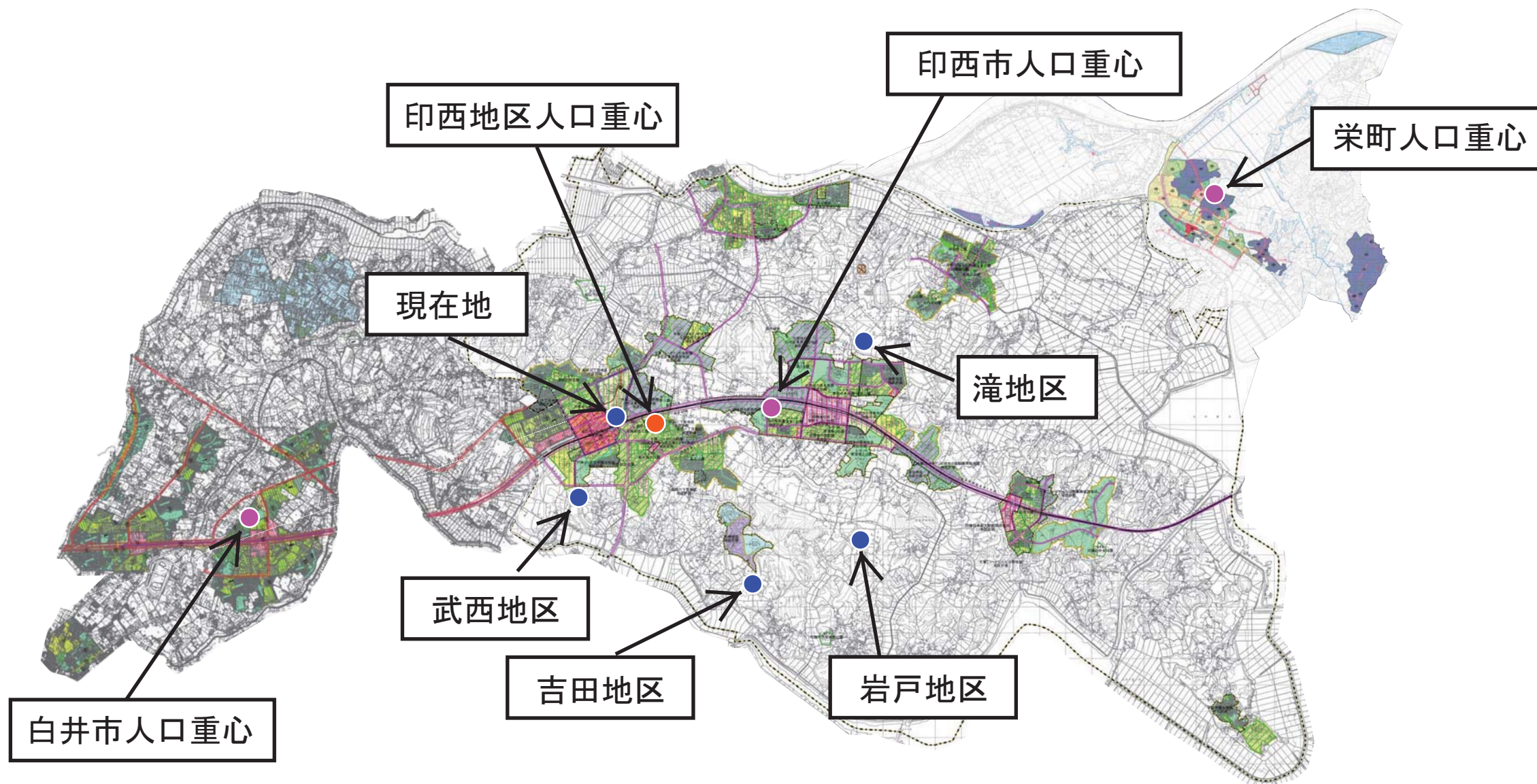
- : 住宅
- : 学校, 保育所, 図書館
- : 病院, 診療所, 特別養護老人ホーム
- : 町内会等



至 八千代市

候補地周辺の路線バスルート図





	人口重心からの直線距離 (km)			
	印西市から	白井市から	栄町から	印西地区から
岩戸地区	2.9	11.1	9.4	4.4
滝地区	1.7	11.4	7.5	3.9
武西地区	4.4	5.7	13.5	2.3
吉田地区	3.6	9.2	11.6	3.7
現在地	3.4	6.6	12.4	1.0